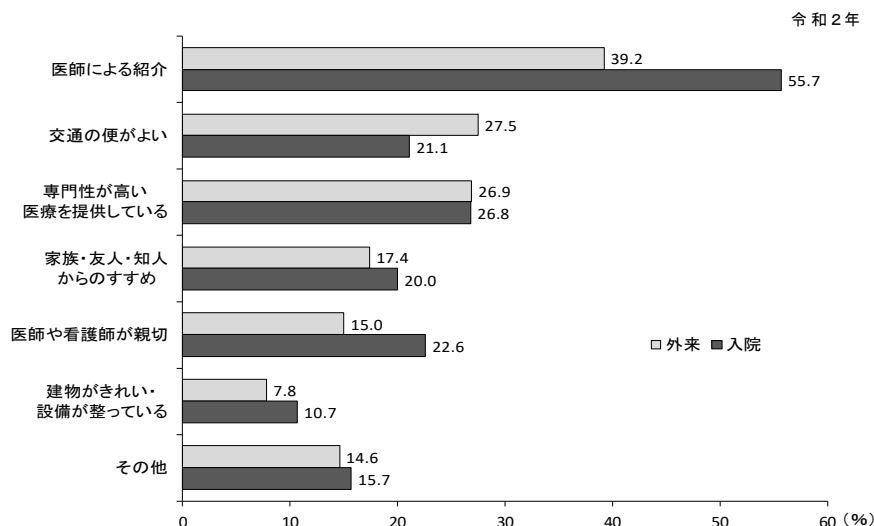


結果の概要

1 病院を選んだ理由

この病院を選んだ理由があると回答した者について、選んだ理由をみると、外来、入院ともに「医師による紹介」が最も高く、外来で 39.2%、入院で 55.7%、次いで、外来では「交通の便がよい」が 27.5%、入院では「専門性が高い医療を提供している」が 26.8%となっている(図1)。なお、統計表 1、2で病院の種類別について示した。

図1 外来-入院別にみた病院を選んだ理由(複数回答)(基本集計)



注:「病院を選んだ理由」がある者の数値である。

2 ふだん医療機関にかかる時の情報の入手先

ふだん医療機関にかかる時に「情報を入手している」者は、外来が 80.2%、入院が 82.5%、「特に情報は入手していない」者は、外来が 17.0%、入院が 14.9%となっている。

「情報を入手している」者について、情報の入手先別にみると、外来、入院ともに「家族・友人・知人の口コミ」が最も高く、外来で 71.1%、入院で 69.5%、次いで、外来では「医療機関が発信するインターネットの情報」が 24.4%、入院では「医療機関の相談窓口」が 27.1%となっている。(表1)

表1 外来-入院、年齢階級別にみたふだん医療機関にかかる時の情報の入手先(複数回答)(基本集計)

	総数	情報を入手している	情報の入手先(複数回答)										特に情報は入手していない	不詳
			医療機関の相談窓口	インターネットの医療機関が発信する情報	医療機関の看板やパンフレットなどの広告	行政機関の相談窓口	情報(医療機能情報提供制度など)	インターネットの行政機関が発信するパンフレット	行政機関が発信するパンフレット	医療機関・行政機関以外が発信するインターネットの情報(SNS、電子掲示板、ブログの情報を含む)	新聞・雑誌・本の記事やテレビ・ラジオの番組	家族・友人・知人の口コミ		
外来	100.0	80.2 (100.0)	(15.3)	(24.4)	(5.7)	(2.3)	(3.4)	(3.7)	(14.8)	(4.6)	(71.1)	(10.4)	17.0	2.8
総数	100.0	90.3 (100.0)	(9.9)	(44.4)	(4.0)	(3.0)	(5.9)	(2.7)	(32.5)	(2.0)	(75.7)	(5.2)	9.0	0.8
0~14歳	100.0	85.9 (100.0)	(6.8)	(43.3)	(4.4)	(1.6)	(5.3)	(1.5)	(31.8)	(2.8)	(67.3)	(5.6)	12.6	1.6
15~39歳	100.0	83.7 (100.0)	(10.0)	(38.0)	(5.2)	(1.8)	(4.9)	(2.7)	(23.0)	(4.5)	(71.4)	(9.1)	15.1	1.2
40~64歳	100.0	78.5 (100.0)	(17.3)	(17.3)	(6.6)	(2.4)	(2.6)	(4.9)	(7.9)	(5.5)	(71.8)	(12.2)	19.1	2.4
65~74歳	100.0	76.5 (100.0)	(21.6)	(9.3)	(6.1)	(2.7)	(1.5)	(4.7)	(4.9)	(5.0)	(71.1)	(12.4)	19.5	4.0
入院	100.0	82.5 (100.0)	(27.1)	(16.5)	(6.9)	(5.4)	(3.2)	(4.1)	(10.5)	(5.5)	(69.5)	(12.4)	14.9	2.5
総数	100.0	91.3 (100.0)	(12.1)	(43.6)	(5.6)	(3.7)	(4.6)	(1.5)	(34.4)	(2.1)	(75.4)	(6.2)	7.9	0.8
0~14歳	100.0	87.8 (100.0)	(8.1)	(46.4)	(4.1)	(1.6)	(5.7)	(1.7)	(33.2)	(3.2)	(72.7)	(5.4)	11.7	0.5
15~39歳	100.0	85.9 (100.0)	(18.5)	(31.7)	(7.1)	(4.4)	(5.4)	(2.9)	(20.3)	(6.2)	(70.6)	(11.3)	13.1	1.0
40~64歳	100.0	83.8 (100.0)	(27.2)	(13.5)	(7.6)	(5.0)	(2.7)	(5.0)	(7.5)	(6.5)	(68.8)	(13.5)	14.6	1.6
65~74歳	100.0	81.0 (100.0)	(31.6)	(9.9)	(6.8)	(6.2)	(2.5)	(4.4)	(6.1)	(5.1)	(69.1)	(13.1)	16.1	2.9

注:年齢階級の総数には年齢不詳を含む。

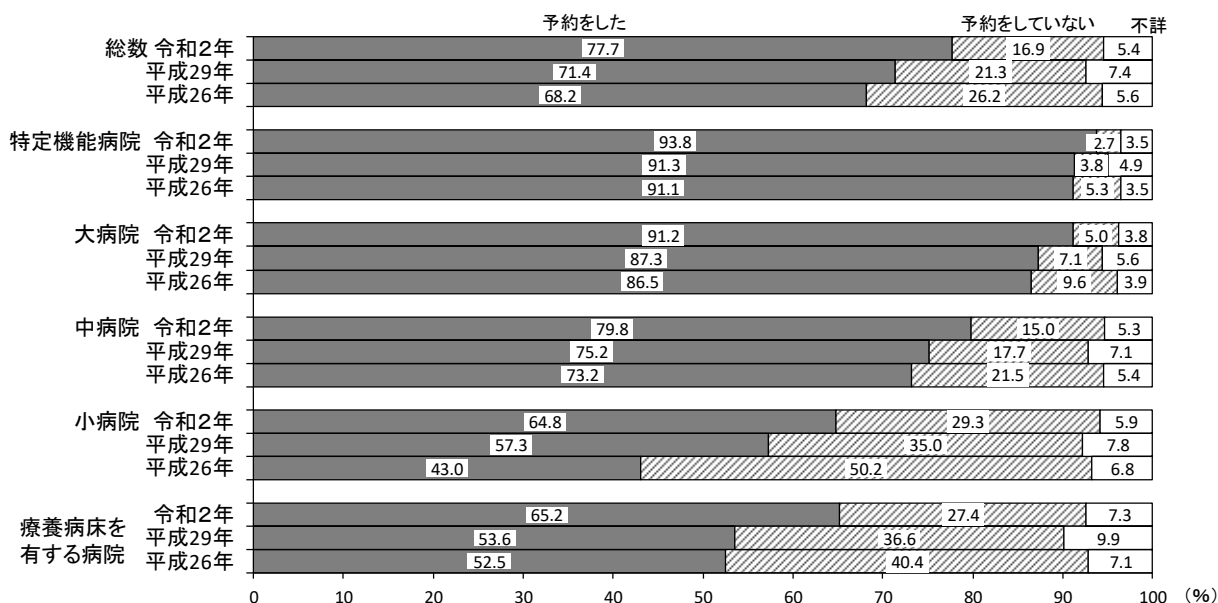
3 予約の状況、診察等までの待ち時間、診察時間（外来患者のみ）

(1) 予約の状況

外来患者の予約の状況を見ると、「予約をした」は77.7%となっており、前回(平成29年)に比べて6.3ポイント上昇している。

病院の種類別に「予約をした」割合をみると、特定機能病院が93.8%と最も高い。次いで、大病院が91.2%、中病院が79.8%となっている。前回と比べると、療養病床を有する病院では「予約をした」が11.6ポイント上昇し、65.2%となっている。(図2)

図2 病院の種類別にみた外来患者の予約の状況(基本集計)

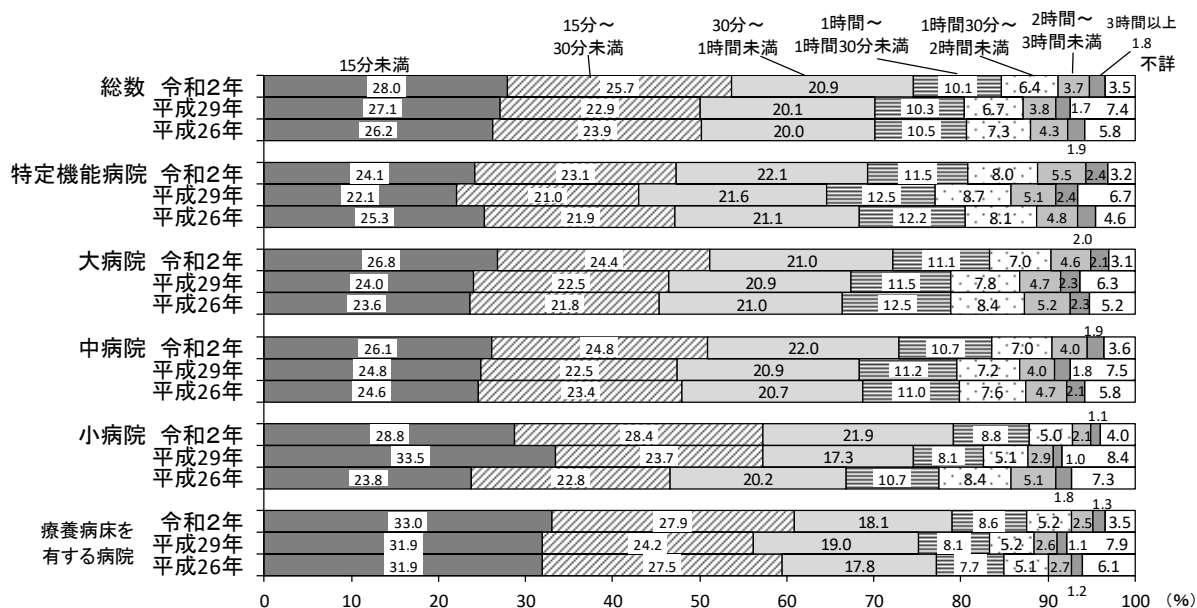


(2) 診察等までの待ち時間

外来患者の診察等までの待ち時間を見ると、「15分未満」が28.0%と最も多く、次いで、「15分～30分未満」が25.7%、「30分～1時間未満」が20.9%となっており、1時間未満の待ち時間の割合が約7割となっている(図3、統計表3)。

病院の種類別にみると、全ての病院で「15分未満」が最も多くなっている(図3)。

図3 病院の種類別にみた外来患者の診察等までの待ち時間(基本集計)

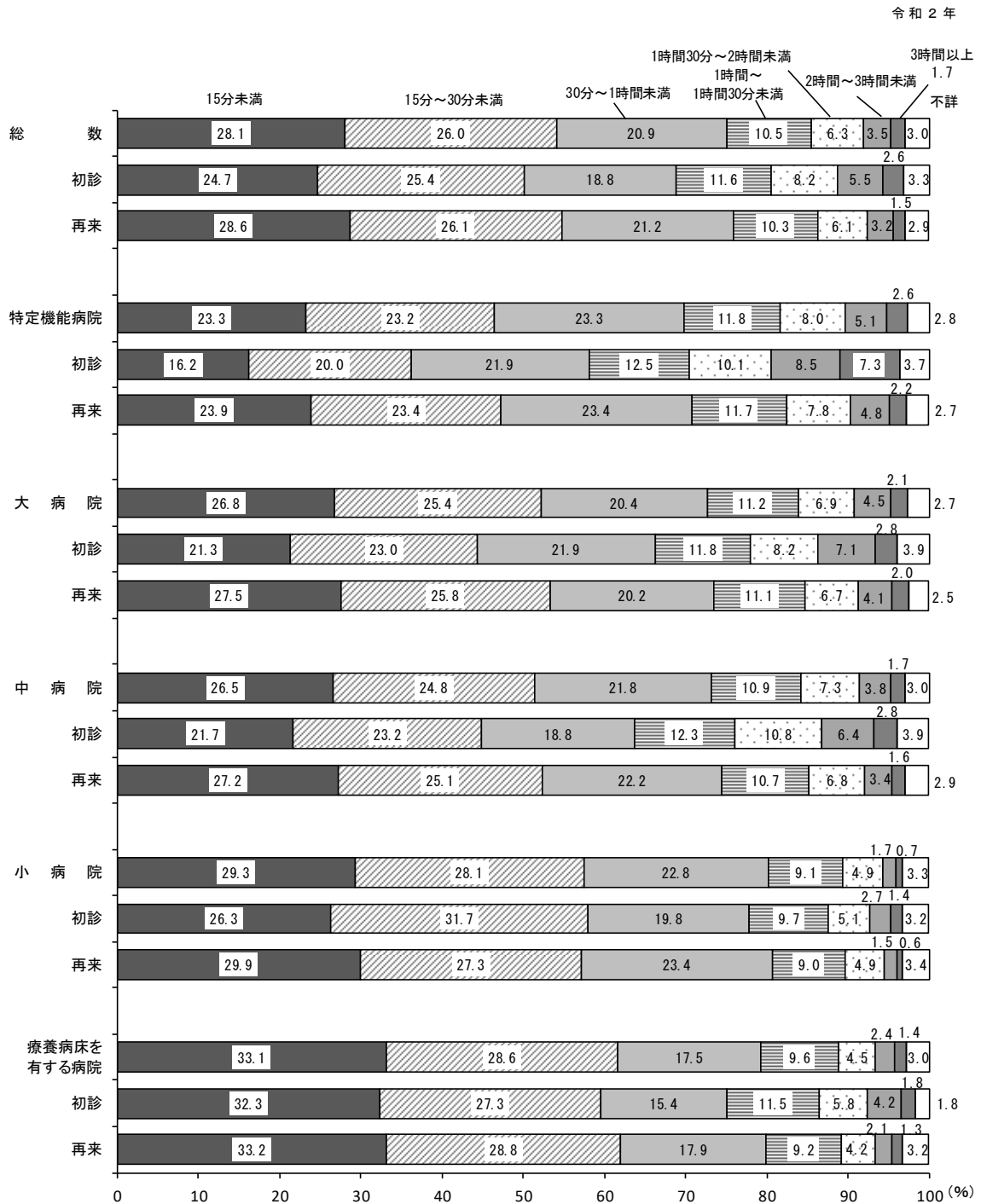


(3) 初診－再来別にみた診察等までの待ち時間【関連集計】

外来患者の診察等までの待ち時間を初診・再来別にみると、初診は「15分～30分未満」が25.4%で最も多く、次いで「15分未満」、「30分～1時間未満」となっており、再来は「15分未満」が28.6%で最も多く、次いで「15分～30分未満」、「30分～1時間未満」となっており、1時間未満の待ち時間は、初診で約70%、再来で約75%となっている。

病院の種類別にみると、小病院を除く全ての病院において、「15分未満」「15分～30分未満」の割合は、初診より再来の方が高くなっている。(図4)

追加 図4 病院の種類、初診－再来別にみた外来患者の診察等までの待ち時間(関連集計)



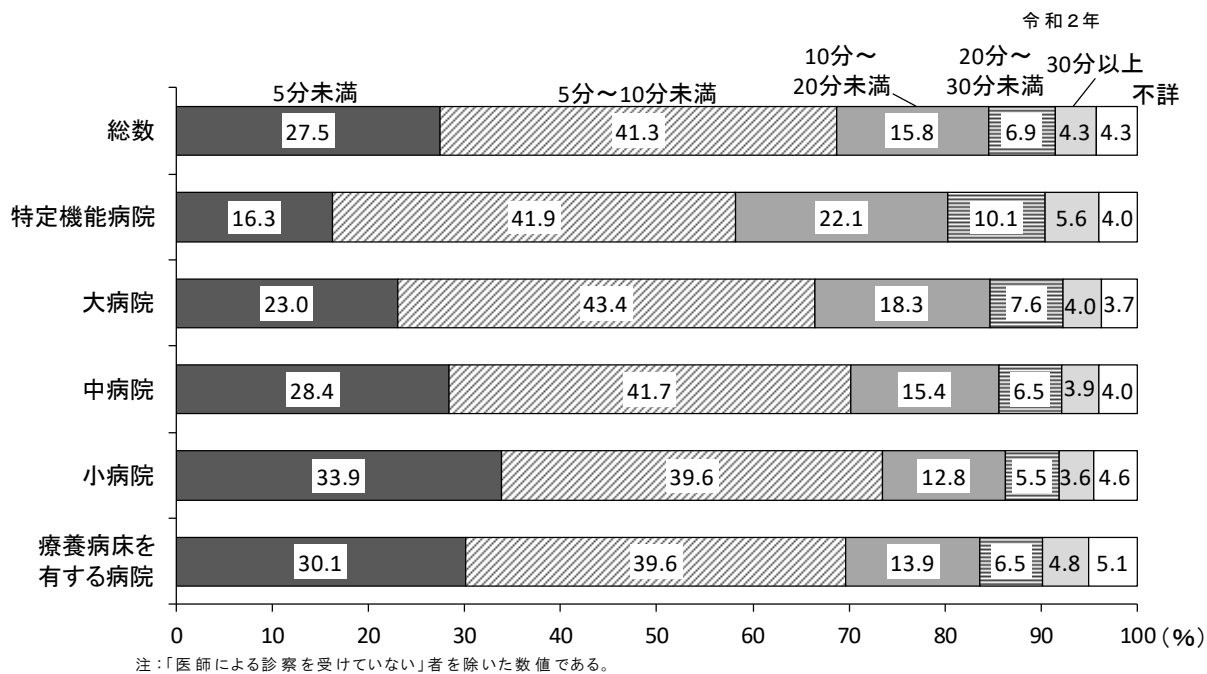
注：「初診－再来」は、令和2年(2020)患者調査(確定数)とのデータ・リンケージにより得られた調査票情報を用いて集計している。

(4) 病院の種類別にみた診察時間

外来患者の診察時間をみると、「5分～10分未満」が41.3%と最も多く、次いで、「5分未満」が27.5%、「10分～20分未満」が15.8%となっている(図5、統計表4)。

病院の種類別にみると、「5分未満」は小病院で33.9%と最も高く、特定機能病院で16.3%と最も低くなっている(図5)。

図5 病院の種類別にみた外来患者の診察時間(基本集計)



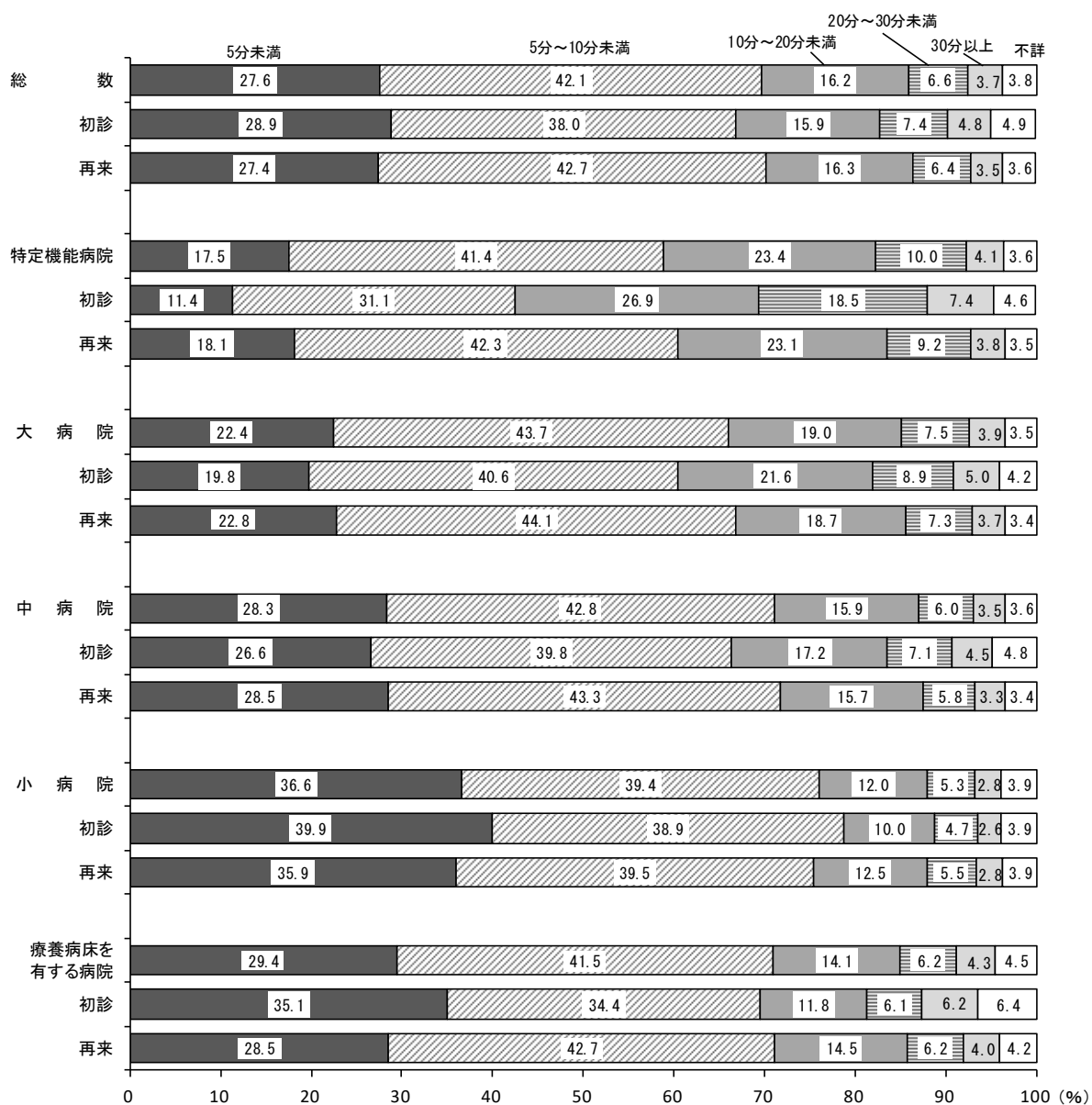
(5) 初診－再来別にみた診察時間 【関連集計】

外来患者の診察時間を初診・再来別にみると、初診・再来ともに「5分～10分未満」が初診38.0%、再来42.7%と最も多く、次いで「5分未満」が初診で28.9%、再来で27.4%となっている。

病院の種類別にみると、特定機能病院、大病院、中病院では、「5分未満」で初診より再来が高く、中でも特定機能病院では初診と再来の差が6.7ポイントとなっている。(図6)

追加 図6 病院の種類、初診－再来別にみた外来患者の診察時間(関連集計)

令和2年



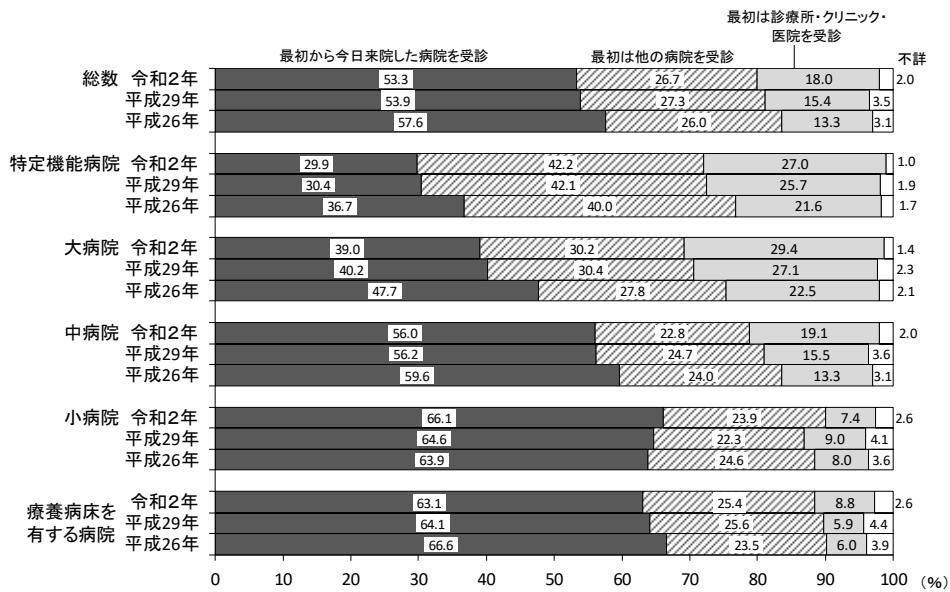
注:1)「医師による診察を受けていない」者を除いた数値である。
 2)「初診－再来」は、令和2年(2020)患者調査(確定数)とのデータ・リンケージにより得られた調査票情報を用いて集計している。

4 最初の受診場所（外来患者のみ）

外来患者が、調査日現在に受診した病気や症状について最初に受診した場所をみると、「最初から今日来院した病院を受診」が 53.3%と最も多く、次いで、「最初は他の病院を受診」が 26.7%、「最初は診療所・クリニック・医院を受診」が 18.0%となっている。

病院の種類別にみると、特定機能病院では「最初は他の病院を受診」が 42.2%と最も多く、それ以外の病院では「最初から今日来院した病院を受診」が最も多くなっている。（図7）

図7 病院の種類別にみた外来患者の最初の受診場所（基本集計）



注：「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者の数値である。

5 来院の目的（外来患者のみ）

（1）病院の種類別

外来患者の来院の目的をみると、「診察・治療・検査などを受ける」は 88.8%、「健康診断（人間ドックを含む）・予防接種」は 6.0%となっている。

来院の目的が「診察・治療・検査などを受ける」者について、診察・治療・検査などの内容をみると、「定期的な診察と薬の処方を受ける」が 42.1%と最も多く、次いで、「症状を診てもらおう」が 20.9%、「検査を受ける、または検査結果を聞く」が 19.6%となっている。

病院の種類別にみると、すべての病院で「定期的な診察と薬の処方を受ける」が最も多く、次いで、特定機能病院及び大病院では「検査を受ける、または検査結果を聞く」が多く、中病院、小病院及び療養病床を有する病院では「症状を診てもらおう」が多くなっている。（表2）

表2 病院の種類別にみた外来患者の来院の目的（基本集計）

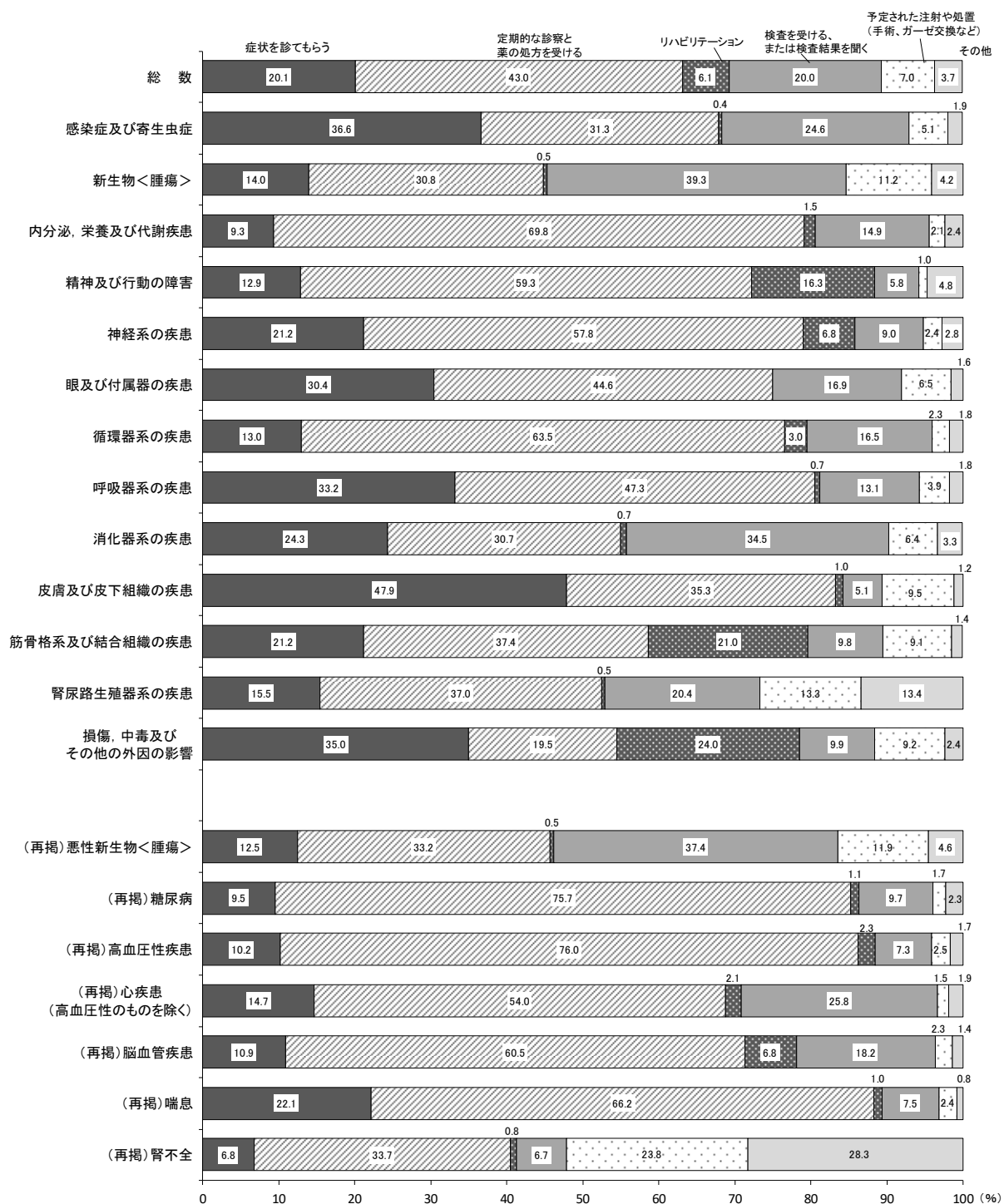
	総数	来院の目的 (%)								令和2年	
		診察・治療・検査などを受ける	症状を診てもらおう	定期的な診察と薬の処方を受ける	リハビリテーション	検査を受ける、または検査結果を聞く	予定された注射や処置（手術、ガーゼ交換など）	その他	健康診断（人間ドックを含む）・予防接種	不詳	
総数	100.0	88.8	(20.9)	(42.1)	(6.3)	(19.6)	(6.9)	(4.2)	6.0	5.2	
特定機能病院	100.0	94.6	(18.4)	(43.5)	(1.2)	(25.3)	(8.0)	(3.7)	0.8	4.6	
大病院	100.0	92.8	(19.9)	(38.9)	(1.8)	(28.5)	(7.1)	(3.8)	2.7	4.5	
中病院	100.0	89.8	(22.6)	(41.8)	(4.0)	(21.2)	(6.2)	(4.2)	5.5	4.7	
小病院	100.0	84.5	(20.3)	(43.1)	(10.1)	(14.5)	(7.7)	(4.3)	9.5	5.9	
療養病床を有する病院	100.0	84.5	(20.2)	(44.0)	(14.1)	(10.2)	(7.0)	(4.5)	9.3	6.3	

(2) 主な傷病分類別【関連集計】

主な傷病分類別に診察・治療・検査などの内容を見ると、「新生物〈腫瘍〉」では「検査を受ける、または検査結果を聞く」が39.3%と最も多く、「内分泌、栄養及び代謝疾患」及び「循環器系の疾患」では「定期的な診察と薬の処方を受ける」が、それぞれ69.8%、63.5%と最も多くなっている(図8)。

追加 図8 主な傷病分類別にみた外来患者の診察・治療・検査などの内容(関連集計)

令和2年



注:1)「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者の数値である。

2)「主な傷病分類」は、令和2年(2020)患者調査(確定数)(医療施設の管理者が記入する方式により調査を行ったもの。)とのデータ・リンケージにより得られた調査票情報を用いて集計している。

6 自覚症状（外来患者のみ）

（1）自覚症状の有無、自覚症状はなかったが受診した理由

外来患者が、調査日現在に受診した病気や症状を初めて医師に診てもらった時、「自覚症状があった」は 67.0%、「自覚症状がなかった」は 27.8%となっている(図9、統計表5)。

「自覚症状がなかった」と回答した者の受診した理由をみると、「健康診断(人間ドックを含む)で指摘された」が 44.2%と最も高く、次いで、「他の医療機関等で受診をすすめられた」が 24.4%となっている(図 10、統計表5)。

図9 外来患者の自覚症状の有無(基本集計)

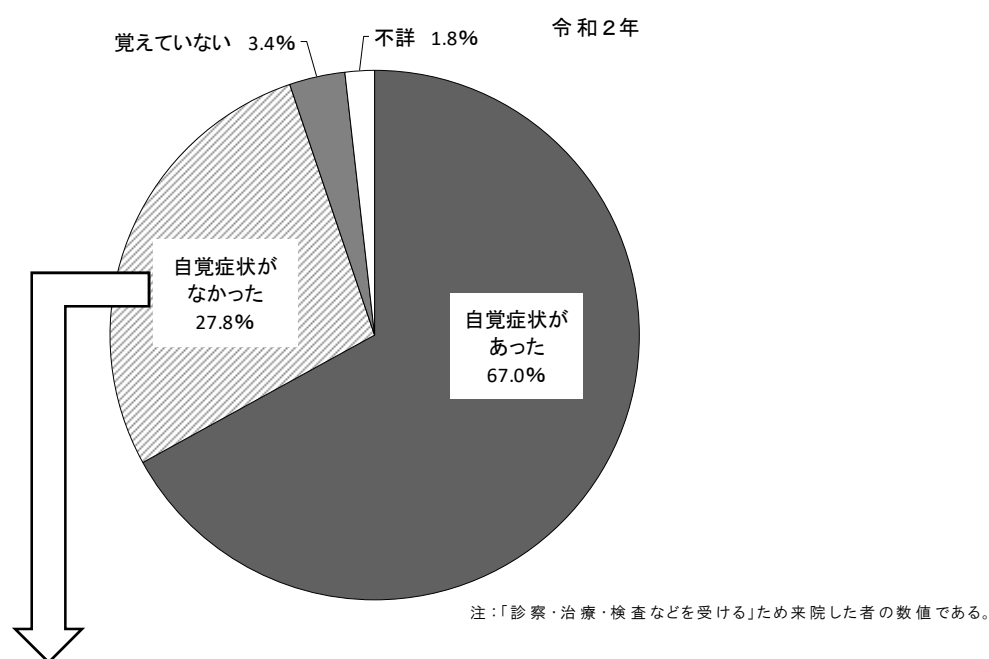
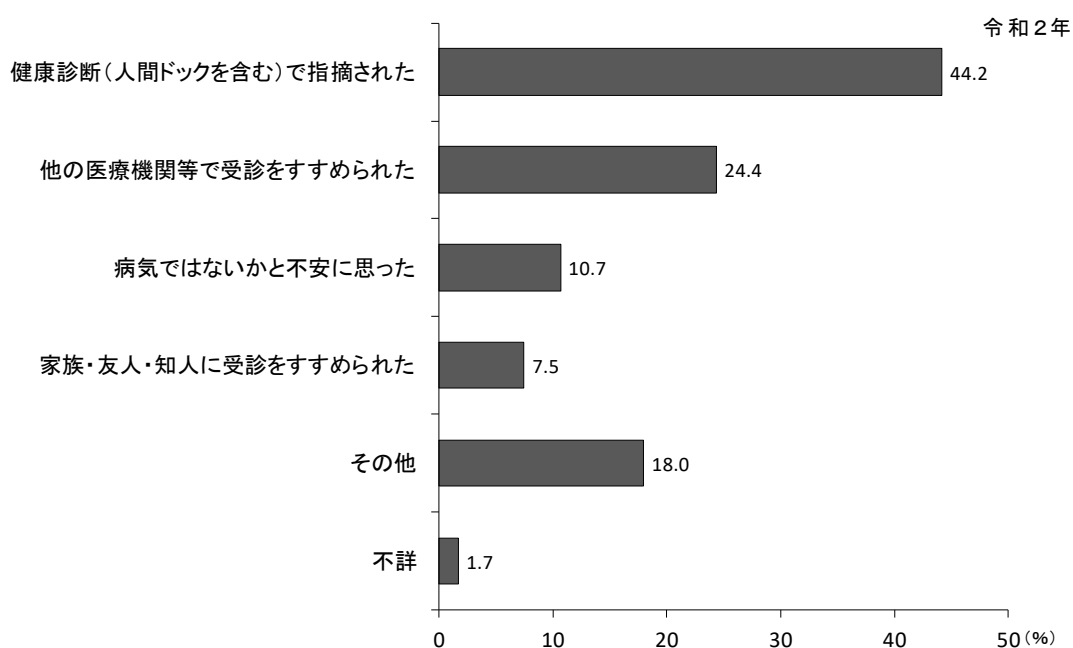


図 10 外来患者の自覚症状はなかったが受診した理由(複数回答)(基本集計)



(2) 受診までの期間、受診までに時間がかかった理由

「自覚症状があった」「自覚症状がなかった」と回答した者について、受診までの期間(症状を自覚した時から、又は自覚症状がなかったが受診した理由が生じた時から最初の受診までの期間)をみると、「1週間～1か月未満」が19.3%と最も多く、次いで、「1～3日」が15.1%となっている。

自覚症状の有無別にみると、「自覚症状があった」では「1～3日」が17.6%と最も多く、「自覚症状がなかった」では「1週間～1か月未満」が25.0%と最も多くなっている。(表3、統計表6)

表3 自覚症状の有無別にみた外来患者の受診までの期間(基本集計)

(単位:%)

令和2年

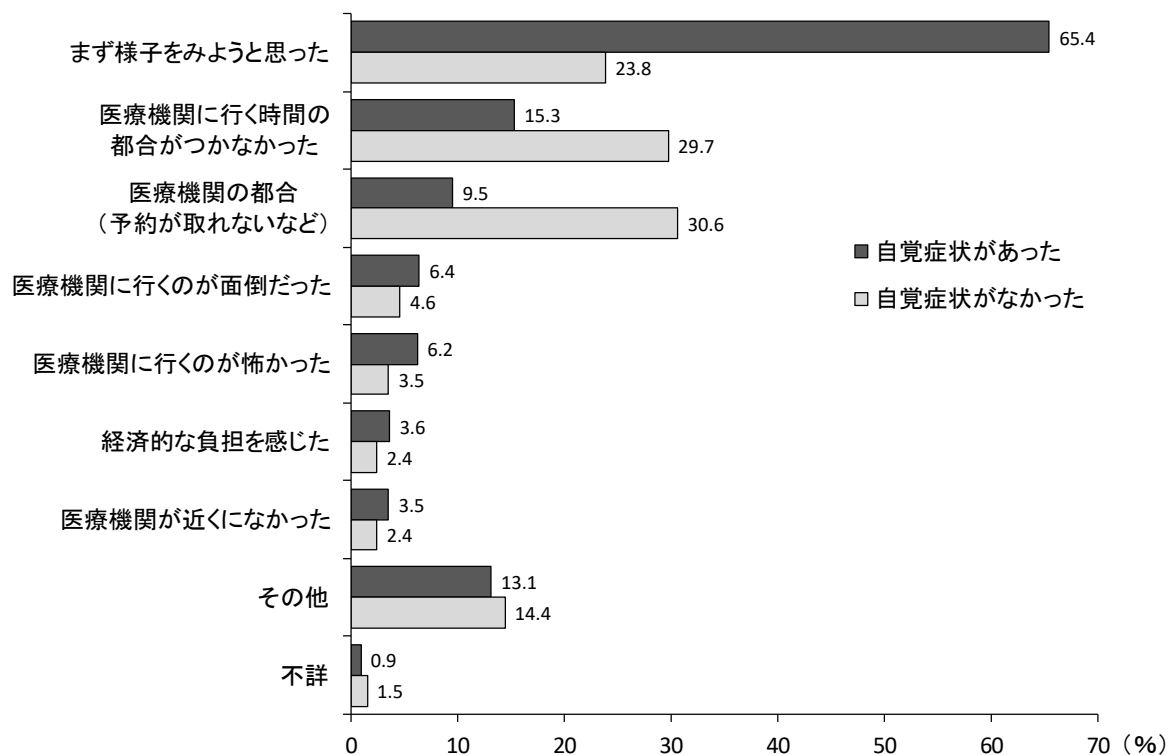
	総数	24時間未満	1～3日	4～6日	1週間～1か月未満	1か月～3か月未満	3か月以上	覚えていない	不詳
総数	100.0	12.2	15.1	8.6	19.3	11.2	11.3	14.5	8.0
自覚症状があった	100.0	14.7	17.6	8.9	16.9	10.5	12.9	12.9	5.5
自覚症状がなかった	100.0	6.1	9.2	7.7	25.0	12.7	7.2	18.3	13.9

注:「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者で、「自覚症状があった」者及び「自覚症状がなかった」者の数値である。

受診までの期間が「1週間以上」の者について、自覚症状の有無別に受診までに時間がかかった理由をみると、「自覚症状があった」では「まず様子をみようと思った」が65.4%と最も高く、「自覚症状がなかった」では「医療機関の都合(予約が取れないなど)」が30.6%と最も高くなっている(図11、統計表7)。

図11 外来患者の受診までに時間がかかった理由(複数回答)(基本集計)

令和2年



注:「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者で、「自覚症状があった」者及び「自覚症状がなかった」者のうち受診までの期間が「1週間以上」の者の数値である。

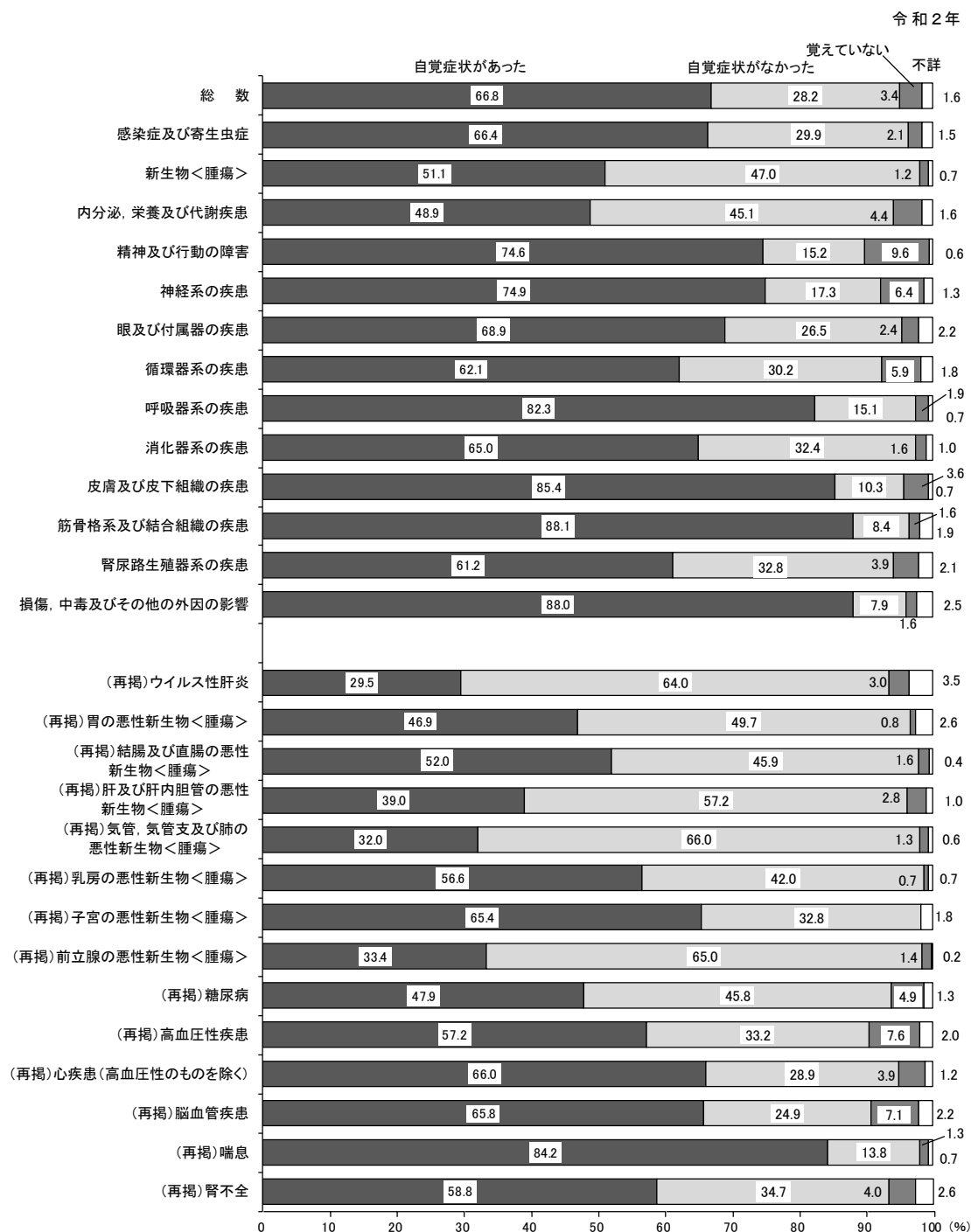
(3) 主な傷病分類別にみた自覚症状の有無【関連集計】

主な傷病分類別に自覚症状の有無をみると、「自覚症状がなかった」は、「新生物<腫瘍>」で47.0%、「内分泌、栄養及び代謝疾患」で45.1%と高くなっている。

悪性新生物<腫瘍>について、「自覚症状がなかった」が多かったものは、「気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>」が66.0%、「前立腺の悪性新生物<腫瘍>」が65.0%、「肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>」が57.2%となっている。(図12、統計表8)

追加

図12 主な傷病分類別にみた外来患者の自覚症状の有無(関連集計)



注：1)「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者の数値である。

2)「主な傷病分類」は、令和2年(2020)患者調査(確定数)(医療施設の管理者が記入する方式により調査を行ったもの。)とのデータ・リンケージにより得られた調査票情報を用いて集計している。

7 入院までの期間、入院までに時間がかかった理由（入院患者のみ）

入院患者の入院までの期間（入院が必要と診断されてから実際に入院するまでの期間）をみると、「1週間未満（緊急入院または救急搬送を含む）」が 55.0%と最も多く、次いで、「1週間～1か月未満」が 23.8%となっている（表4）。

表4 病院の種類別にみた入院患者の入院までの期間（基本集計）

（単位：％）

令和2年

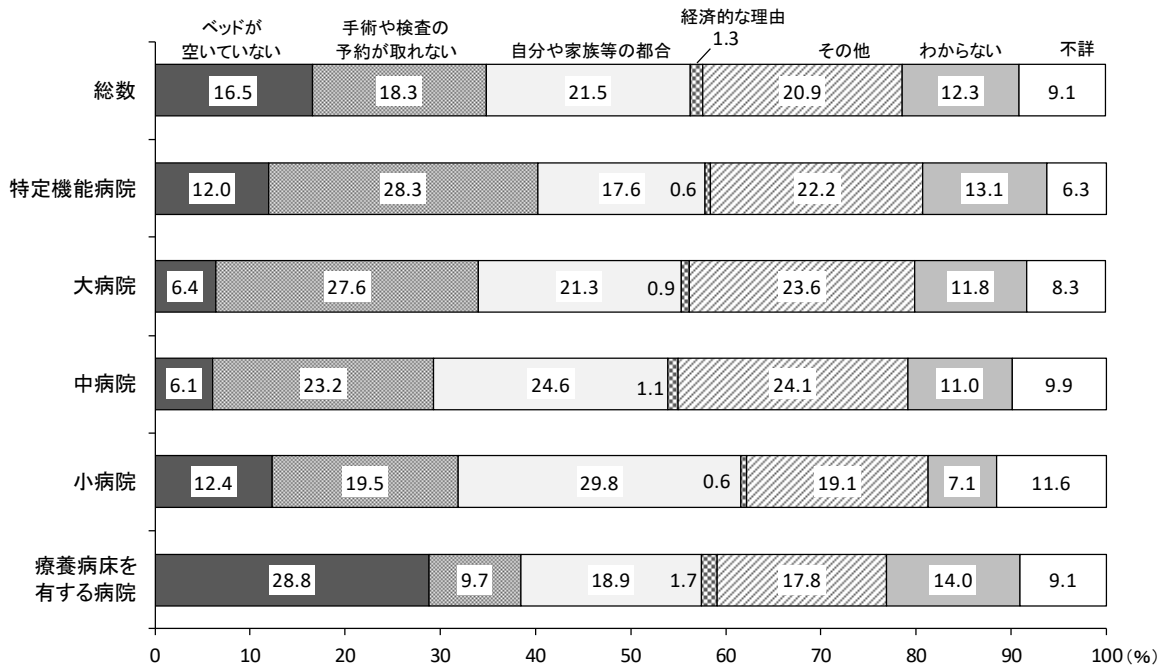
	総数	1週間未満 (緊急入院または 救急搬送を含む)	1週間～ 1か月未満	1か月以上	覚えていない	不詳
総数	100.0	55.0	23.8	12.2	4.0	5.0
特定機能病院	100.0	41.4	32.0	22.0	1.2	3.3
大病院	100.0	53.8	25.3	15.5	1.1	4.3
中病院	100.0	58.2	21.5	12.0	2.5	5.7
小病院	100.0	56.4	23.5	13.9	1.4	4.8
療養病床を有する病院	100.0	54.7	24.0	9.9	6.5	4.9

入院までの期間が「1週間～1か月未満」及び「1か月以上」の者について、入院までに時間がかかった理由をみると、「自分や家族等の都合」が 21.5%と最も多くなっている。

病院の種類別にみると、最も多い理由は、特定機能病院及び大病院では「手術や検査の予約が取れない」、中病院及び小病院では「自分や家族等の都合」、療養病床を有する病院では「ベッドが空いていない」となっている。（図13）

図13 病院の種類別にみた入院患者の入院までに時間がかかった理由（基本集計）

令和2年



注：本図では、平成26年調査以降の結果との時系列比較の観点から、入院までの期間が「1週間～1か月未満」「1か月以上」「覚えていない」のうち、「1週間～1か月未満」及び「1か月以上」の者について集計している。

8 医師からの説明の有無、程度、説明に対する疑問や意見

(1) 医師からの説明の有無、説明の程度

病気や症状に対する診断や治療方針について、医師から「説明を受けた」者は、外来で96.8%、入院で94.2%となっている。また、医師から説明を受けた者について、「説明は十分だった」は外来で94.5%、入院で93.1%、「説明は十分ではなかった」は外来で5.5%、入院で6.9%となっている。(表5)

表5 外来－入院、病院の種類別にみた医師からの説明の有無、説明の程度(基本集計)

		(単位:%)									令和2年	
	総数	説明を受けた			説明は十分ではなかった			説明を受けていない			不詳	
			説明は十分だった	十分だった	まあまあだった	説明は十分ではなかった	あまり十分ではなかった	十分ではなかった	説明を受けていない			
外来												
総数	100.0	96.8	(100.0)	(94.5)	(60.0)	(34.5)	(5.5)	(4.0)	(1.5)	0.6	2.6	
特定機能病院	100.0	98.0	(100.0)	(94.1)	(61.3)	(32.8)	(5.9)	(4.3)	(1.5)	0.5	1.5	
大病院	100.0	97.5	(100.0)	(94.5)	(60.4)	(34.1)	(5.5)	(4.1)	(1.4)	0.5	1.9	
中病院	100.0	96.8	(100.0)	(94.7)	(59.6)	(35.1)	(5.3)	(3.9)	(1.4)	0.6	2.6	
小病院	100.0	96.2	(100.0)	(94.3)	(60.6)	(33.6)	(5.7)	(4.0)	(1.7)	0.5	3.2	
療養病床を有する病院	100.0	96.1	(100.0)	(94.4)	(59.4)	(35.0)	(5.6)	(4.0)	(1.6)	0.9	3.1	
入院												
総数	100.0	94.2	(100.0)	(93.1)	(65.5)	(27.5)	(6.9)	(4.5)	(2.5)	2.0	3.8	
特定機能病院	100.0	97.6	(100.0)	(96.1)	(72.2)	(23.9)	(3.9)	(2.7)	(1.2)	0.4	1.9	
大病院	100.0	97.0	(100.0)	(96.2)	(73.2)	(23.0)	(3.8)	(2.8)	(1.0)	0.8	2.2	
中病院	100.0	94.5	(100.0)	(94.2)	(69.8)	(24.4)	(5.8)	(3.7)	(2.1)	2.0	3.4	
小病院	100.0	94.3	(100.0)	(94.1)	(69.9)	(24.2)	(5.9)	(3.7)	(2.2)	1.9	3.8	
療養病床を有する病院	100.0	92.8	(100.0)	(90.8)	(58.7)	(32.1)	(9.2)	(5.9)	(3.3)	2.5	4.7	

注：外来は「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者の数値である。

(2) 医師から受けた説明に対する疑問や意見

医師から診断や治療方針の説明を受けた者について、疑問や意見を医師に「伝えられた」は外来で87.6%、入院で81.8%、「伝えられなかった」は外来で6.2%、入院で8.3%となっている(表6)。

表6 外来－入院、病院の種類別にみた医師から受けた説明に対する疑問や意見(基本集計)

		(単位:%)							令和2年	
	総数	伝えられた			伝えられなかった			疑問や意見は特になかった	不詳	
		十分	まあまあ	十分	まあまあ	十分	まあまあ			
外来										
総数	100.0	87.6	43.7	43.9	6.2	5.6	0.6	5.2	1.0	
特定機能病院	100.0	89.0	43.9	45.1	6.6	6.0	0.6	3.7	0.8	
大病院	100.0	87.8	42.7	45.1	6.6	6.0	0.6	4.9	0.8	
中病院	100.0	87.5	43.3	44.3	6.0	5.4	0.6	5.4	1.1	
小病院	100.0	87.0	45.3	41.7	6.2	5.6	0.5	5.6	1.2	
療養病床を有する病院	100.0	87.2	44.3	42.9	6.0	5.4	0.6	5.7	1.1	
入院										
総数	100.0	81.8	47.0	34.8	8.3	6.9	1.4	8.5	1.4	
特定機能病院	100.0	89.1	51.2	37.9	5.2	4.7	0.6	4.7	1.0	
大病院	100.0	88.2	52.9	35.3	4.9	4.4	0.5	5.4	1.5	
中病院	100.0	84.0	50.8	33.3	6.7	5.6	1.1	7.9	1.4	
小病院	100.0	82.6	51.1	31.5	7.0	5.6	1.4	8.7	1.7	
療養病床を有する病院	100.0	77.2	41.5	35.8	11.1	9.2	1.9	10.3	1.4	

注：1) 外来は「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者で、「医師から説明を受けた」者の数値である。

2) 入院は「医師から説明を受けた」者の数値である。

9 今後の治療・療養の希望（入院患者のみ）

（1）病院の種類別

入院患者の今後の治療・療養の希望をみると、「完治するまでこの病院に入院していきたい」が45.6%で最も多く、次いで、「自宅から病院や診療所に通院しながら、治療・療養したい」が30.0%となっている。

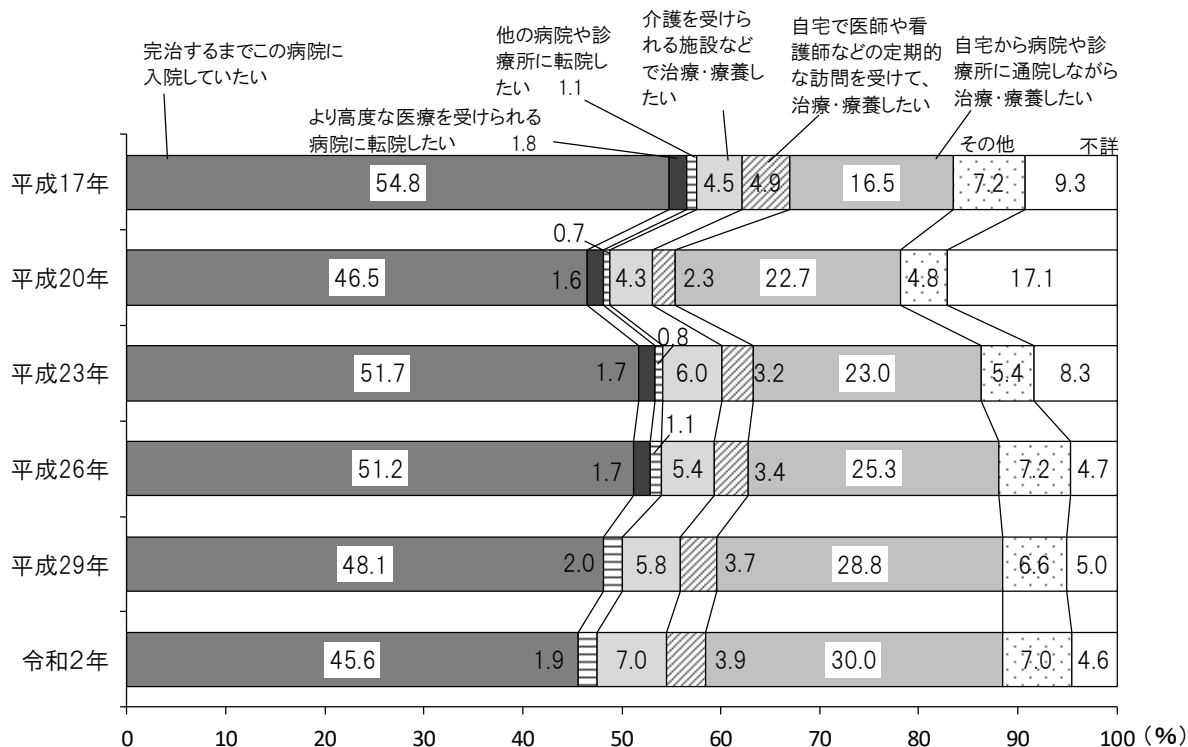
病院の種類別にみると、「完治するまでこの病院に入院していきたい」は、療養病床を有する病院で50.9%と最も高く、「自宅から病院や診療所に通院しながら、治療・療養したい」は、特定機能病院で45.5%と最も高くなっている。（表7）

表7 病院の種類別にみた入院患者の今後の治療・療養の希望（基本集計）

	令和2年								
	総数	完治するまでこの病院に入院していきたい	他の病院や診療所に転院したい	介護を受けられる施設などで治療・療養したい	自宅で医師や看護師などの定期的な訪問を受けて、治療・療養したい	自宅で医師や看護師などの定期的な訪問を受けて、治療・療養したい	自宅から病院や診療所に通院しながら、治療・療養したい	その他	不詳
総数	100.0	45.6	1.9	7.0	3.9	30.0	7.0	4.6	
特定機能病院	100.0	41.0	2.4	1.2	2.6	45.5	4.2	3.1	
大病院	100.0	41.2	2.0	2.2	2.9	43.5	4.8	3.3	
中病院	100.0	41.0	2.3	4.8	3.8	37.7	5.6	4.9	
小病院	100.0	43.6	1.5	7.6	4.3	32.8	5.4	4.8	
療養病床を有する病院	100.0	50.9	1.7	10.4	4.3	18.5	9.3	4.9	

年次推移をみると、「自宅から病院や診療所に通院しながら、治療・療養したい」は増加傾向となっている（図14）。

図14 入院患者の今後の治療・療養の希望の年次推移（基本集計）



注：1）平成23年は、岩手県、宮城県及び福島県を除いた数値である。

2）平成29年以降は「より高度な医療を受けられる病院に転院したい」「他の病院や診療所に転院したい」と統合した。

(2) 病床の種類別【関連集計】

病床の種類別にみると、療養病床、一般病床ともに、「完治するまでこの病院に入院したい」が療養病床で52.7%、一般病床で43.4%と最も多く、次いで「自宅から病院や診療所に通院しながら、治療・療養したい」が療養病床で14.3%、一般病床で35.6%となっている(表8)。

追加 表8 病床の種類別にみた入院患者の今後の治療・療養の希望(関連集計)

(単位:%)

令和2年

	総数	完治するまでこの病院に入院したい	他の病院や診療所に転院したい	介護を受けられる施設などで治療・療養したい	自宅で定期的な訪問を受けて治療・療養したい	医師や看護師などの訪問、養いや診療所に通院しながら治療・療養したい	自宅から病院や診療所に通院しながら治療・療養したい	その他	不詳
総数	100.0	45.4	1.9	6.9	3.8	30.1	7.6	4.3	
療養病床(再掲)	100.0	52.7	0.9	12.1	3.6	14.3	12.5	3.9	
一般病床(再掲)	100.0	43.4	1.9	5.2	3.9	35.6	5.6	4.3	

注:「病床の種類(療養病床(再掲)、一般病床(再掲))」は、令和2年(2020)患者調査(確定数)とのデータ・リンケージにより得られた調査票情報を用いて集計している。

(3) 性・年齢階級別

性・年齢階級別にみると、男女ともに、「完治するまでこの病院に入院したい」が男で45.3%、女で45.8%と最も多く、次いで「自宅から病院や診療所に通院しながら、治療・療養したい」が男で32.5%、女で27.8%となっている。

また、「完治するまでこの病院に入院したい」が、女の15~39歳、男女とも0~14歳、65~74歳、75歳以上において4~5割程度と最も多く、一方、男の15~39歳、男女とも40~64歳では「自宅から病院や診療所に通院しながら、治療・療養したい」が最も多くなっている。(表9)

追加 表9 性・年齢階級別にみた入院患者の今後の治療・療養の希望(基本集計)

(単位:%)

令和2年

	総数	完治するまでこの病院に入院したい	他の病院や診療所に転院したい	介護を受けられる施設などで治療・療養したい	自宅で定期的な訪問を受けて治療・療養したい	医師や看護師などの訪問、養いや診療所に通院しながら治療・療養したい	自宅から病院や診療所に通院しながら治療・療養したい	その他	不詳
総数	100.0	45.6	1.9	7.0	3.9	30.0	7.0	4.6	
0~14歳	100.0	46.4	0.6	0.4	3.0	40.4	7.8	1.5	
15~39	100.0	39.7	1.4	0.3	1.8	43.5	11.2	2.0	
40~64	100.0	38.6	3.2	2.5	3.0	43.4	6.7	2.7	
65~74	100.0	43.9	1.9	3.4	3.3	37.4	6.7	3.4	
75歳以上	100.0	48.4	1.7	10.0	4.4	23.0	6.9	5.5	
男	100.0	45.3	2.3	5.7	4.2	32.5	6.2	3.9	
0~14歳	100.0	47.4	0.5	0.1	3.4	39.3	8.2	1.1	
15~39	100.0	35.6	1.9	0.6	2.8	49.6	6.7	2.8	
40~64	100.0	39.5	3.3	2.6	2.9	42.3	6.7	2.6	
65~74	100.0	43.7	1.9	3.3	3.2	38.8	5.9	3.1	
75歳以上	100.0	48.8	2.1	8.4	5.0	25.0	5.9	4.7	
女	100.0	45.8	1.7	8.1	3.6	27.8	7.8	5.2	
0~14歳	100.0	45.3	0.7	0.7	2.4	41.7	7.2	1.9	
15~39	100.0	42.2	1.1	0.1	1.2	39.8	14.1	1.5	
40~64	100.0	37.3	3.0	2.2	3.1	45.0	6.7	2.7	
65~74	100.0	44.3	1.9	3.5	3.5	35.3	7.8	3.8	
75歳以上	100.0	48.2	1.5	11.0	4.0	21.7	7.6	6.0	

注:年齢階級の総数には年齢不詳を含む。

10 退院の許可が出た場合の自宅療養の見通し（入院患者のみ）

（1）病院の種類別

入院患者の退院の許可が出た場合の自宅療養の見通しをみると、「自宅で療養できる」は 56.7%、「自宅で療養できない」は 26.3%となっている。

病院の種類別にみると、「自宅で療養できる」は特定機能病院が 78.7%と最も高く、「自宅で療養できない」は療養病床を有する病院が 42.5%と最も高くなっている。

「自宅で療養できない」と回答した者について、自宅療養を可能にする条件をみると、「入浴や食事などの介護が受けられるサービス」が 39.9%と最も高く、次いで、「家族の協力」が 34.5%、「療養に必要な用具（車いす、ベッドなど）」が 28.3%となっている。

病院の種類別にみると、特定機能病院及び大病院では「家族の協力」が最も高く、中病院、小病院及び療養病床を有する病院では「入浴や食事などの介護が受けられるサービス」が最も高くなっている。（表 10）

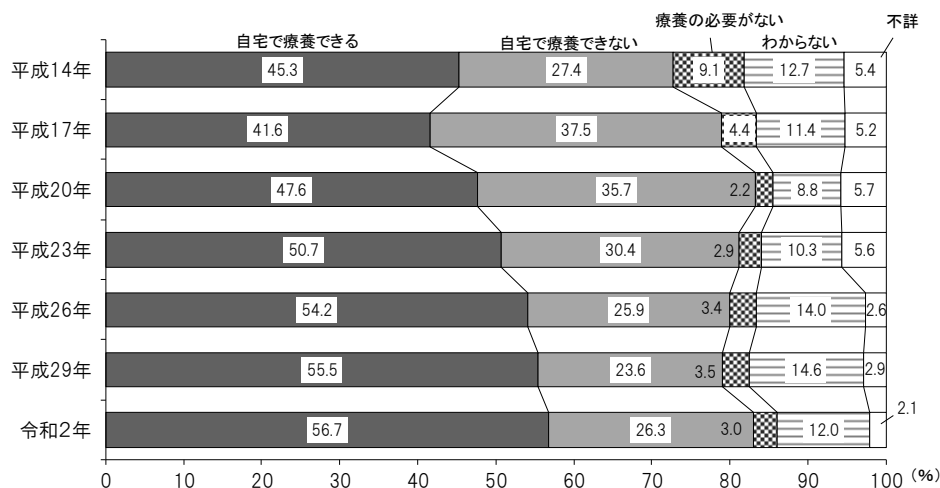
表 10 病院の種類別にみた退院の許可が出た場合の入院患者の自宅療養の見通し（基本集計）

(単位:%) 令和2年

	総数	自宅で療養できる	自宅で療養できない	自宅療養を可能にする条件（複数回答）											療養の必要がない	わからない	不詳
				家族の協力	入浴や食事などの介護が受けられるサービス	通院手段の確保	医師、看護師などの定期的な訪問	緊急時の病院や診療所への連絡体制	（服薬・リハビリ指導など）	療養のための指導（手すりの設置など）	療養のための改築（車いす、ベッドなど）	療養に必要な用具	その他	いいのかわからない			
総数	100.0	56.7	26.3 (100.0)	(34.5)	(39.9)	(23.0)	(25.5)	(23.4)	(23.5)	(21.3)	(28.3)	(24.0)	(16.9)	(4.4)	3.0	12.0	2.1
特定機能病院	100.0	78.7	7.0 (100.0)	(47.1)	(37.5)	(33.2)	(21.6)	(27.9)	(32.3)	(20.8)	(26.5)	(13.7)	(5.5)	(1.7)	3.9	9.0	1.4
大病院	100.0	76.8	9.0 (100.0)	(45.0)	(38.8)	(29.6)	(24.8)	(28.3)	(32.7)	(22.0)	(29.4)	(13.7)	(6.5)	(3.0)	3.6	9.0	1.6
中病院	100.0	68.4	14.7 (100.0)	(37.7)	(43.7)	(25.5)	(22.3)	(23.6)	(28.6)	(21.1)	(26.8)	(16.6)	(10.6)	(3.4)	3.8	10.9	2.2
小病院	100.0	62.6	21.1 (100.0)	(34.5)	(46.2)	(25.2)	(28.7)	(23.5)	(22.6)	(21.6)	(29.0)	(23.5)	(11.6)	(5.2)	3.3	10.6	2.4
療養病床を有する病院	100.0	39.1	42.5 (100.0)	(32.9)	(38.6)	(21.7)	(26.1)	(23.0)	(21.6)	(21.3)	(28.6)	(26.7)	(19.6)	(4.8)	2.0	14.2	2.1

退院の許可が出た場合の自宅療養の見通しの年次推移をみると、「自宅で療養できる」は平成 20 年以降増加している。一方、「自宅で療養できない」は平成 20 年以降減少していたが、令和 2 年では前回（平成 29 年）に比べ増加している（図 15）。

図 15 退院の許可が出た場合の入院患者の自宅療養の見通しの年次推移（基本集計）



注：平成 23 年は、岩手県、宮城県及び福島県を除いた数値である。

(2) 病床の種類、同居の有無別【関連集計】

病床の種類別にみると、療養病床では「自宅で療養できる」が 27.0%、「自宅で療養できない」が 56.3%となっている。一方、一般病床では「自宅で療養できる」が 67.5%、「自宅で療養できない」が 16.0%となっている。

同居の有無別にみると、「同居人なし」は「同居人あり」に比べ、「自宅で療養できない」の割合が高く、特に療養病床の「同居人なし」は「自宅で療養できない」が 59.5%となっている。(表 11)

追加 表 11 病床の種類、同居の有無別にみた退院の許可が出た場合の入院患者の自宅療養の見通し(関連集計)

(単位:%) 令和2年

	総数	自宅で療養できる	自宅で療養できない												療養の必要がない	わからない	不詳	
			自宅療養を可能にする条件(複数回答)															
			家族の協力	介護が受けられるサービス	入浴や食事などの通院手段の確保	医師、看護師などの定期的な訪問	診療所への連絡体制	緊急時の病院や指導など(服薬・リハビリ)	療養のための指導(手すりの設置など)	療養のための改装(車いす、ベッドなど)	療養に必要な用具	その他	整備はいいのかわからない	不詳				
総数	100.0	56.6	26.5	(100.0)	(33.7)	(39.2)	(23.0)	(24.5)	(24.0)	(22.9)	(21.3)	(28.0)	(24.7)	(16.9)	(4.5)	3.0	12.1	1.8
同居人あり	100.0	63.7	21.5	(100.0)	(38.3)	(40.2)	(23.2)	(27.6)	(25.5)	(25.0)	(23.3)	(30.7)	(24.4)	(15.9)	(3.8)	3.5	10.1	1.2
夫婦のみ	100.0	68.9	18.0	(100.0)	(35.5)	(43.0)	(28.1)	(31.6)	(30.7)	(28.2)	(29.3)	(35.8)	(19.1)	(15.6)	(4.7)	3.2	8.9	1.1
子と同居	100.0	59.6	25.2	(100.0)	(40.1)	(38.9)	(20.8)	(25.6)	(24.5)	(24.9)	(20.0)	(28.2)	(25.0)	(16.5)	(3.0)	3.6	10.4	1.2
その他と同居	100.0	63.8	18.7	(100.0)	(36.3)	(40.1)	(22.9)	(27.7)	(19.5)	(19.5)	(23.0)	(30.5)	(32.6)	(14.7)	(5.0)	4.1	11.8	1.6
同居人なし	100.0	41.0	39.0	(100.0)	(27.7)	(38.0)	(23.2)	(20.3)	(22.2)	(20.2)	(18.9)	(25.0)	(25.5)	(18.8)	(4.6)	1.9	16.1	2.0
療養病床(再掲)	100.0	27.0	56.3	(100.0)	(28.5)	(35.8)	(20.7)	(23.5)	(22.6)	(19.9)	(20.8)	(28.5)	(28.2)	(22.1)	(5.4)	1.7	13.7	1.2
同居人あり	100.0	31.3	54.5	(100.0)	(30.4)	(37.6)	(21.1)	(27.9)	(23.4)	(21.5)	(22.5)	(31.0)	(28.9)	(22.3)	(4.2)	1.9	12.3	-
夫婦のみ	100.0	35.7	50.6	(100.0)	(22.1)	(35.6)	(18.8)	(29.7)	(26.5)	(21.9)	(27.0)	(31.9)	(22.0)	(25.7)	(4.9)	1.7	12.0	-
子と同居	100.0	28.9	56.9	(100.0)	(32.0)	(36.4)	(21.8)	(24.0)	(22.2)	(21.8)	(17.9)	(27.2)	(29.6)	(22.3)	(3.8)	1.6	12.6	-
その他と同居	100.0	31.2	53.3	(100.0)	(38.8)	(45.5)	(22.3)	(38.7)	(22.8)	(19.7)	(31.5)	(43.3)	(38.1)	(16.8)	(4.6)	3.6	11.9	-
同居人なし	100.0	20.9	59.5	(100.0)	(26.4)	(33.1)	(20.5)	(17.4)	(21.8)	(18.0)	(18.7)	(25.2)	(27.7)	(22.6)	(5.9)	1.5	15.9	2.2
一般病床(再掲)	100.0	67.5	16.0	(100.0)	(40.9)	(46.3)	(27.1)	(27.5)	(26.9)	(27.8)	(23.5)	(30.1)	(18.9)	(9.7)	(3.7)	3.5	11.1	2.0
同居人あり	100.0	72.6	12.6	(100.0)	(47.4)	(44.1)	(26.0)	(28.1)	(28.0)	(29.6)	(24.8)	(31.8)	(18.4)	(8.4)	(3.2)	4.0	9.4	1.4
夫婦のみ	100.0	75.9	11.1	(100.0)	(47.4)	(49.3)	(36.3)	(32.9)	(34.1)	(33.3)	(30.9)	(40.3)	(15.0)	(6.2)	(4.4)	3.5	8.2	1.3
子と同居	100.0	69.5	15.0	(100.0)	(49.6)	(42.4)	(20.1)	(27.5)	(27.2)	(29.2)	(22.8)	(30.2)	(19.2)	(9.9)	(2.1)	4.2	9.8	1.5
その他と同居	100.0	73.5	9.4	(100.0)	(35.8)	(39.0)	(26.0)	(19.1)	(16.5)	(22.5)	(15.7)	(18.3)	(24.5)	(8.3)	(5.4)	4.4	11.1	1.6
同居人なし	100.0	53.7	26.8	(100.0)	(30.9)	(49.9)	(29.0)	(26.6)	(25.3)	(25.4)	(22.0)	(28.4)	(20.0)	(11.7)	(4.3)	2.2	15.5	1.8

注:1)同居の有無の総数には、同居の有無不詳を含む。
 2)「同居人あり」には、同居の続柄不詳を含む。
 3)同居の続柄は「夫又は妻」「父母」「子」「子の夫又は妻」「その他の親族」「その他」について調査したものである。
 4)「子と同居」とは「子」を含むいずれかの続柄の者と同居している者を、「その他と同居」とは「子」以外のいずれかの続柄の者と同居している者を集計している。
 5)「病床の種類(療養病床(再掲)、一般病床(再掲))」は、令和2年(2020)患者調査(確定数)とのデータ・リンケージにより得られた調査票情報を用いて集計している。

(3) 性・年齢階級別

性・年齢階級別にみると、「自宅で療養できる」と回答した者は、男女ともに年齢階級が上がるに従い減少する傾向にある(表 12)。

追加

表 12 性・年齢階級別にみた退院の許可が出た場合の
入院患者の自宅療養の見通し(基本集計)

	総数	自宅で療養できる	自宅で療養できない	自宅療養を可能にする条件(複数回答)											療養の必要がない	わからない	不詳	
				家族の協力	入浴や食事などの介護が受けられるサービス	通院手段の確保	医師、看護師などの定期的な訪問	緊急時の病院や診療所への連絡体制	緊急性の病状や治療のための指導(服薬・リハビリ指導など)	療養のための改築(手すりの設置など)	療養のための改築(車いす、ベッドなど)	療養に必要な用具	その他	整えばいいのかわからない				不詳
総数	100.0	56.7	26.3 (100.0)	(34.5)	(39.9)	(23.0)	(25.5)	(23.4)	(23.5)	(21.3)	(28.3)	(24.0)	(16.9)	(4.4)	3.0	12.0	2.1	
0 ~ 14 歳	100.0	83.2	2.1 (100.0)	(51.1)	(29.3)	(9.3)	(31.2)	(30.2)	(33.9)	(1.5)	(31.7)	(28.7)	(4.0)	(-)	7.6	6.8	0.3	
15 ~ 39	100.0	78.2	5.6 (100.0)	(51.2)	(21.9)	(26.0)	(12.1)	(14.8)	(24.2)	(10.6)	(16.0)	(25.4)	(8.8)	(1.3)	6.6	8.9	0.7	
40 ~ 64	100.0	70.7	13.2 (100.0)	(36.6)	(37.3)	(32.1)	(22.5)	(21.3)	(29.8)	(22.8)	(26.3)	(23.5)	(12.6)	(4.8)	4.3	10.6	1.2	
65 ~ 74	100.0	67.2	16.9 (100.0)	(36.7)	(34.7)	(26.2)	(21.2)	(26.4)	(25.8)	(22.3)	(26.4)	(20.8)	(20.0)	(1.5)	4.2	10.1	1.5	
75 歳以上	100.0	47.4	35.2 (100.0)	(33.8)	(41.2)	(21.7)	(26.7)	(23.4)	(22.6)	(21.2)	(29.1)	(24.7)	(17.0)	(4.8)	1.8	13.2	2.4	
男	100.0	60.6	22.4 (100.0)	(34.8)	(41.0)	(27.4)	(26.7)	(27.5)	(25.9)	(23.6)	(30.2)	(20.9)	(15.7)	(4.6)	3.2	12.0	1.8	
0 ~ 14 歳	100.0	84.3	1.8 (100.0)	(46.2)	(44.0)	(15.7)	(57.0)	(48.9)	(45.7)	(-)	(40.8)	(20.6)	(8.1)	(-)	8.5	5.2	0.1	
15 ~ 39	100.0	76.9	6.7 (100.0)	(47.3)	(19.2)	(38.8)	(8.8)	(9.0)	(25.4)	(16.9)	(20.9)	(25.0)	(6.6)	(2.3)	3.1	12.4	0.9	
40 ~ 64	100.0	67.8	14.9 (100.0)	(31.9)	(37.2)	(33.5)	(21.9)	(23.0)	(30.4)	(22.5)	(26.5)	(26.7)	(13.6)	(4.3)	4.3	11.9	1.2	
65 ~ 74	100.0	66.7	16.6 (100.0)	(32.7)	(37.0)	(29.7)	(21.8)	(27.6)	(26.2)	(21.9)	(25.8)	(16.6)	(22.4)	(1.9)	4.6	10.6	1.5	
75 歳以上	100.0	53.1	29.9 (100.0)	(35.6)	(42.8)	(25.9)	(29.0)	(28.8)	(25.1)	(24.5)	(32.3)	(20.8)	(14.7)	(5.5)	1.9	13.0	2.1	
女	100.0	53.2	29.7 (100.0)	(34.4)	(39.1)	(20.2)	(24.6)	(20.7)	(22.0)	(19.8)	(27.1)	(26.0)	(17.6)	(4.3)	2.8	12.0	2.3	
0 ~ 14 歳	100.0	81.8	2.4 (100.0)	(56.0)	(14.9)	(3.0)	(5.9)	(11.9)	(22.3)	(3.0)	(22.7)	(36.5)	(-)	(-)	6.6	8.8	0.4	
15 ~ 39	100.0	79.0	4.9 (100.0)	(54.6)	(24.3)	(15.0)	(14.9)	(19.7)	(23.2)	(5.1)	(11.9)	(25.8)	(10.8)	(0.5)	8.7	6.8	0.6	
40 ~ 64	100.0	74.6	10.9 (100.0)	(45.1)	(37.5)	(29.6)	(23.6)	(18.2)	(28.7)	(23.3)	(25.8)	(17.8)	(10.8)	(5.5)	4.3	8.9	1.2	
65 ~ 74	100.0	68.0	17.5 (100.0)	(42.2)	(31.6)	(21.5)	(20.3)	(24.7)	(25.3)	(22.9)	(27.1)	(26.5)	(16.8)	(0.9)	3.6	9.4	1.6	
75 歳以上	100.0	43.5	38.8 (100.0)	(32.8)	(40.3)	(19.6)	(25.4)	(20.6)	(21.2)	(19.5)	(27.4)	(26.7)	(18.2)	(4.5)	1.7	13.4	2.6	

注：年齢階級の総数には年齢不詳を含む。

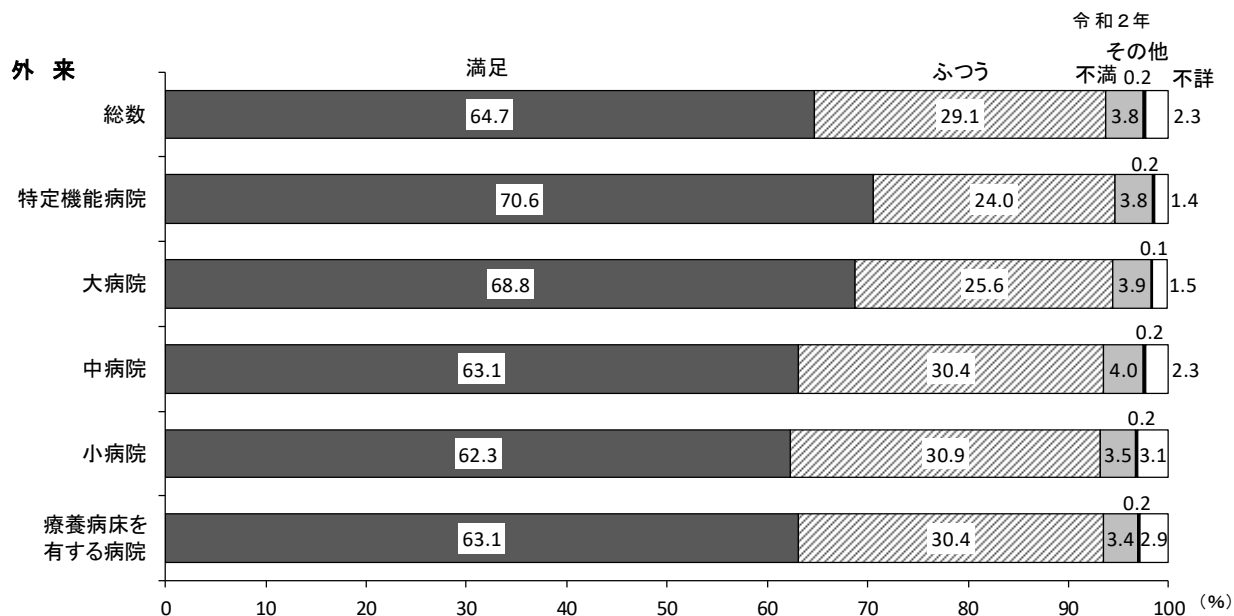
11 満足度

(1) 病院に対する全体的な満足度

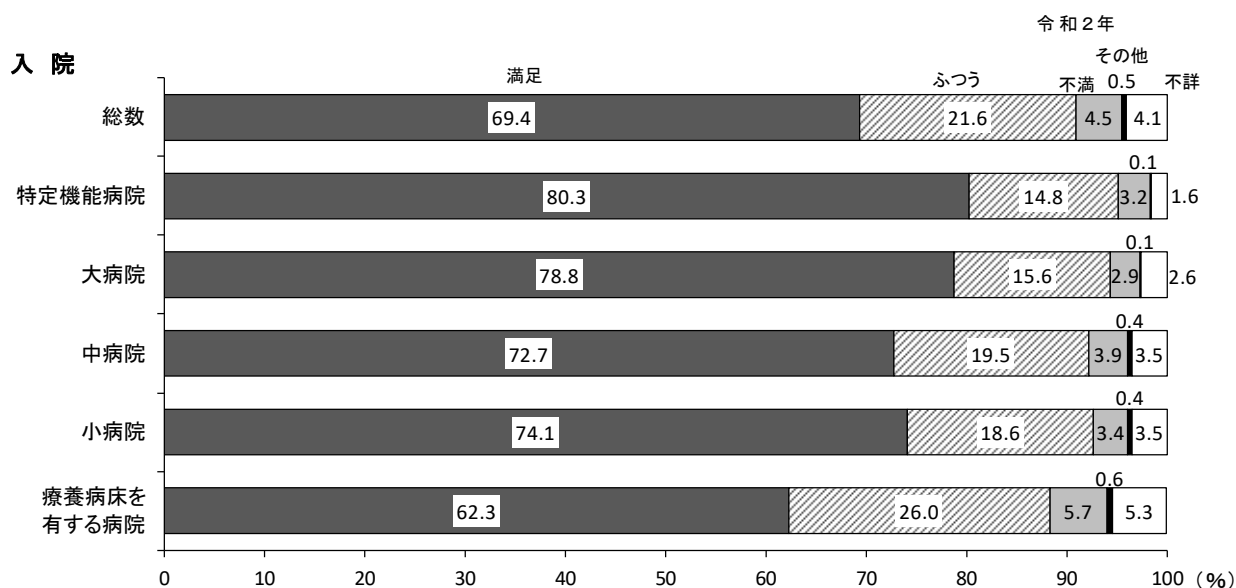
全体としてこの病院に「満足」していると回答した者は、外来で 64.7%、入院で 69.4%、「不満」であると回答した者は、外来で 3.8%、入院で 4.5%となっている。

病院の種類別にみると、「満足」していると回答した者は、外来、入院ともに特定機能病院で最も高くなっている。(図 16、統計表9、10)

図 16 病院の種類別にみた病院に対する全体的な満足度(外来・入院)(基本集計)



注:「満足」は「非常に満足している」「やや満足している」の合計であり、「不満」は「非常に不満である」「やや不満である」の合計である。



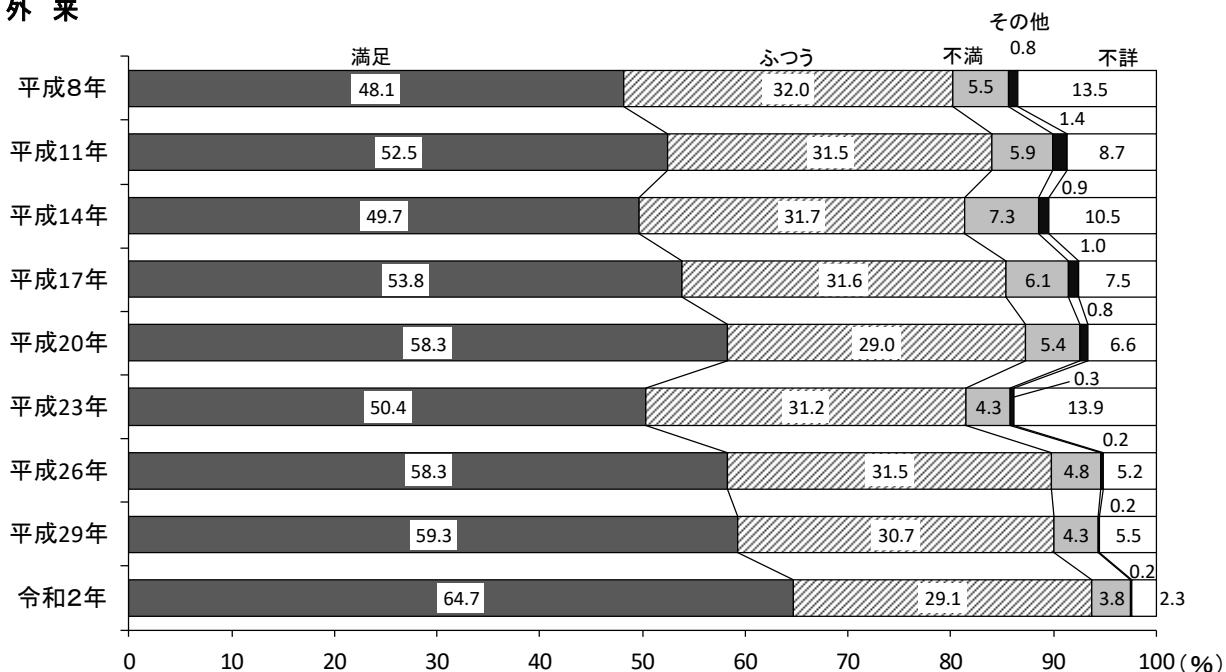
注:「満足」は「非常に満足している」「やや満足している」の合計であり、「不満」は「非常に不満である」「やや不満である」の合計である。

(2) 病院に対する全体的な満足度の年次推移

全体的な満足度を年次推移でみると、「満足」していると回答した者の割合は、外来は5～6割程度、入院は6～7割程度で推移している(図17)。

図17 病院に対する全体的な満足度の年次推移(外来・入院)(基本集計)

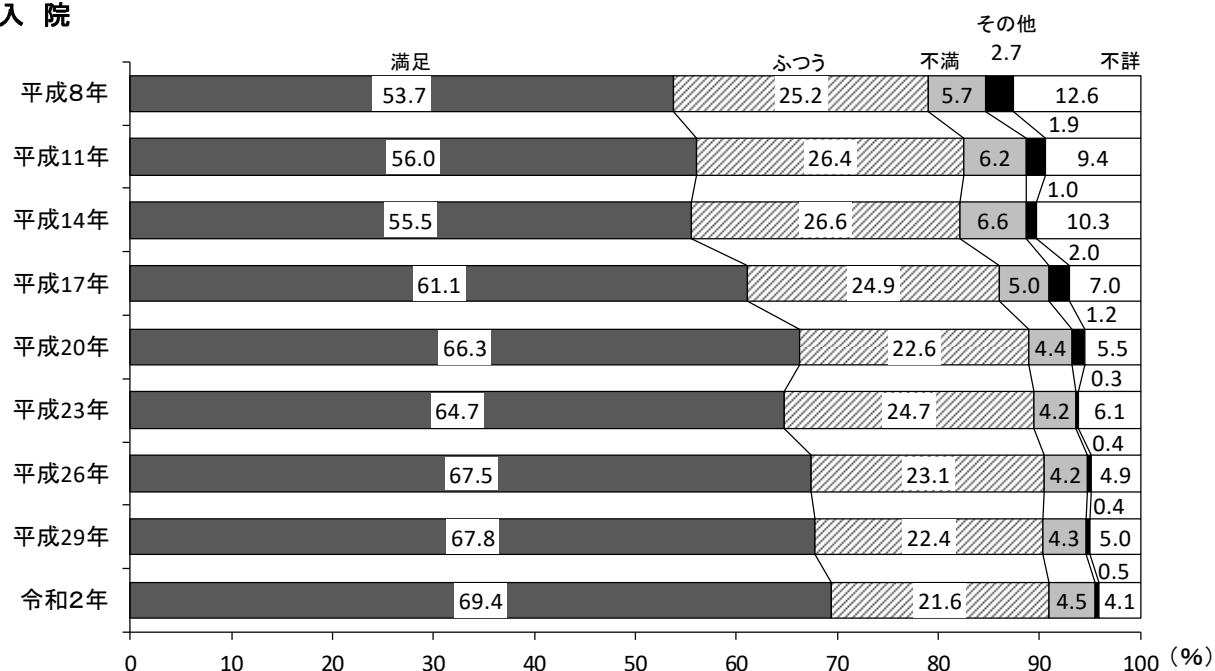
外 来



注:1)平成23年は、岩手県、宮城県及び福島県を除いた数値である。

2)「満足」は「非常に満足している」「やや満足している」の合計であり、「不満」は「非常に不満である」「やや不満である」の合計である。

入 院



注:1)平成23年は、岩手県、宮城県及び福島県を除いた数値である。

2)「満足」は「非常に満足している」「やや満足している」の合計であり、「不満」は「非常に不満である」「やや不満である」の合計である。

(3) 項目別満足度

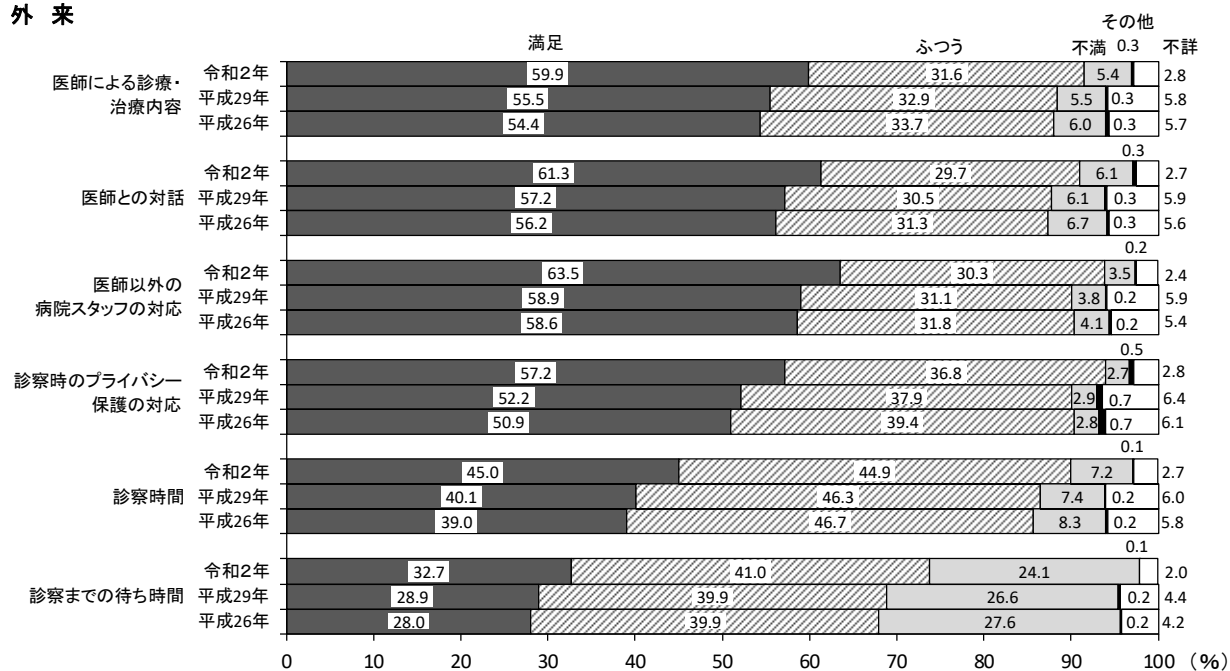
項目別の満足度をみると、「満足」していると回答した者の割合が高いのは、外来、入院ともに「医師による診療・治療内容」「医師との対話」「医師以外の病院スタッフの対応」となっており、外来で約6割、入院で約7割となっている。

一方、「不満」として回答した者の割合が最も高いのは、外来では「診察までの待ち時間」が24.1%、入院では「食事の内容」が12.9%となっている。

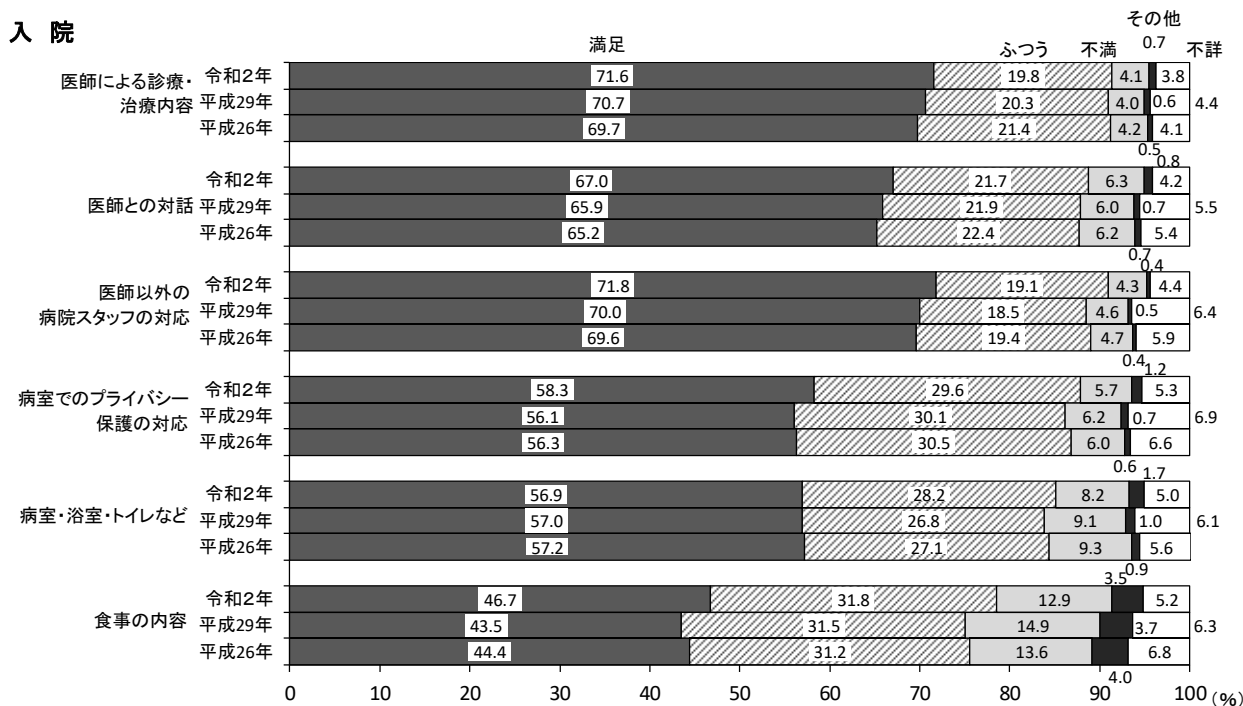
また、前回と比べると、外来では全ての項目で「満足」の割合が上昇している。(図18、統計表9、10)

図18 項目別にみた満足度(外来・入院)(基本集計)

外来



入院



(4) 年齢階級別の満足度

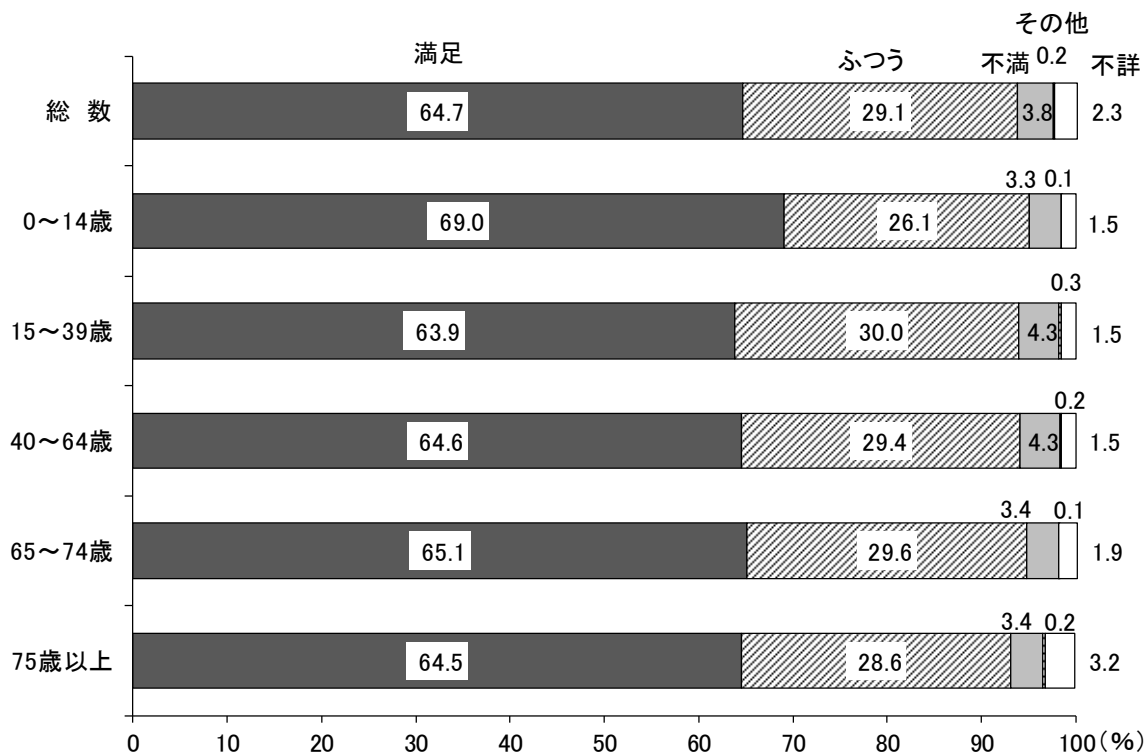
年齢階級別に満足度をみると、外来、入院ともに「満足」の割合は「0～14歳」が最も高くなっている(図19)。

追加

図19 年齢階級別にみた病院に対する全体的な満足度(外来・入院)(基本集計)

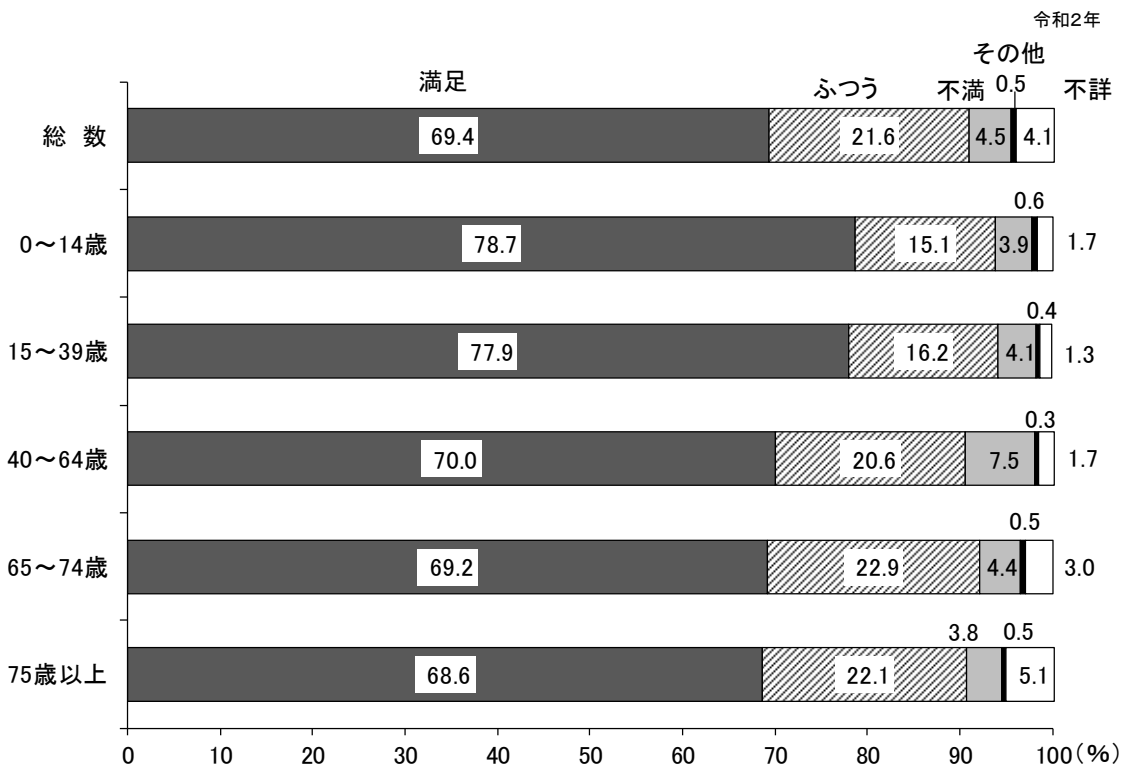
令和2年

外 来



注: 1)「満足」は「非常に満足している」「やや満足している」の合計であり、「不満」は「非常に不満である」「やや不満である」の合計である。
2)年齢階級の総数には年齢不詳を含む。

入 院



注: 1)「満足」は「非常に満足している」「やや満足している」の合計であり、「不満」は「非常に不満である」「やや不満である」の合計である。
2)年齢階級の総数には年齢不詳を含む。

(5) 入院患者の入院期間別の満足度【関連集計】

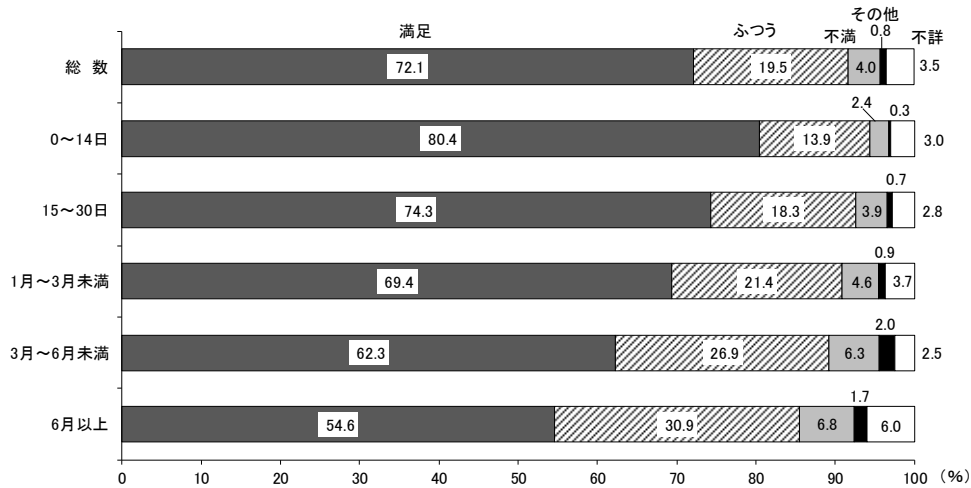
入院期間別に入院患者の満足度を項目別にみると、「医師による診療・治療内容」及び「医師以外の病院スタッフの対応」の「満足」の割合は、「0～14日」でそれぞれ80.4%、80.0%で、入院期間が長くなるに従って低下している。また、「食事の内容」の「満足」の割合は、全ての入院期間で4～5割程度となっている。(図20)

追加

図20 入院期間別にみた入院患者の満足度(関連集計)

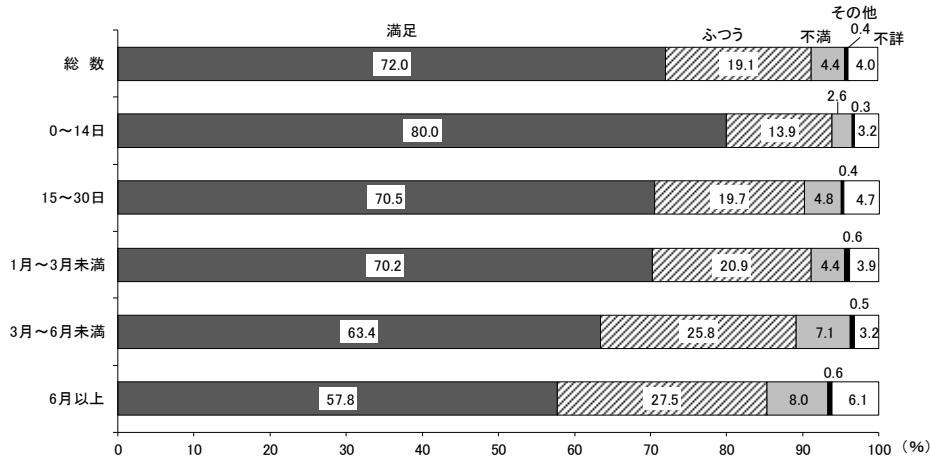
医師による診療・治療内容

令和2年



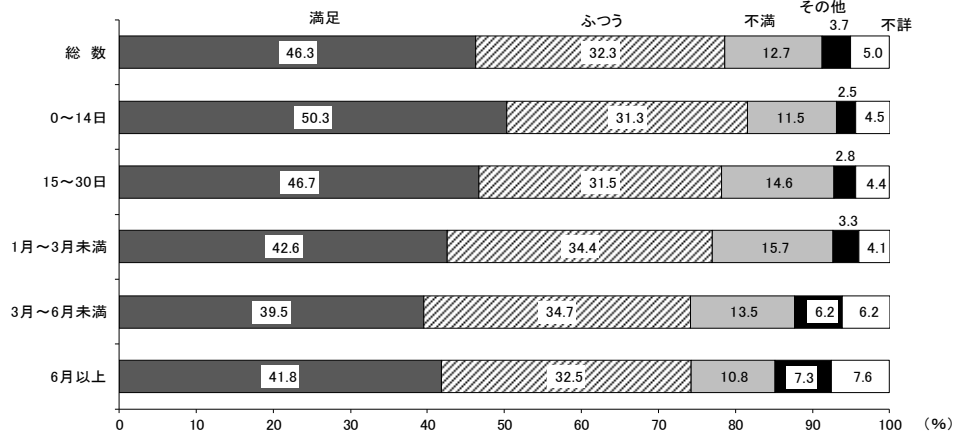
医師以外の病院スタッフの対応

令和2年



食事の内容

令和2年



注: 1)「満足」は「非常に満足している」「やや満足している」の合計であり、「不満」は「非常に不満である」「やや不満である」の合計である。
 2)入院期間の総数には入院期間不詳を含む。
 3)「入院期間」とは入院患者が調査日までに病院に入院している期間である。(なお、調査日に入院した場合は、0日となる。)
 4)「入院期間」は、令和2年(2020)患者調査(確定数)とのデータ・リンケージにより得られた調査票情報を用いて集計している。